

## C 型肝炎ウイルス駆除が肝発癌に及ぼす影響に関する検討

研究分担者 鳥村拓司 久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 教授

### 研究要旨

我々は、令和 1 年度から 3 年度における「肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究」において令和 1 年度は、高齢者における Direct acting antivirals (DAAs) 治療による C 型肝炎ウイルス(HCV) 駆除による肝発癌抑制効果を評価した。本研究では 2014 年から 2017 年までに DAAs 治療を行い、SVR を達成した 65 歳から 75 歳までの症例と対照として 1996 年から 2006 年に登録した 65 歳から 75 歳までの症例で HCV 持続陽性症例を用いてプロペンシティブスコア マッチにて背景を合わせて後向きに肝発癌率を検討した。その結果 DAAs にて SVR となった症例からの 1,2 年発癌率は各々 4.3%, 9.1%であったのに対し、対照群における 1,2 年発癌率は各々 2.5%, 7.0%で有意な違いは認めなかった( $p=0.07$ )。以上の結果から、現時点では 65 歳以上の高齢者において DAAs による HCV の駆除は、その後の肝発癌を抑制しているとは言えなかった。ただし、初期に治療された症例には、肝発癌高危険症例が多く含まれていた可能性があり、最終的な DAAs の肝発癌抑制効果の評価にはもう少しばらりの経過観察が必要と考えられた。令和 2 年度の HCV に起因する非代償性肝硬変症に対するソフォスブビル+ベルパタスビルの治療効果、安全性、および肝予備能や臨床症状の改善に関する検討では、ソフォスブビル+ベルパタスビルの治療で Child-Pugh class A:2 例、B:24 例、C:6 例、合計 32 例の治療症例のうち全例が SVR12 を達成した。肝予備能の改善に関しては、評価しえた 28 例中 10 例がスコアで 1 点、6 例が 2 点、2 例が 3 点の改善を認めた。しかし、9 例で改善がなく、1 例は悪化を認めた。患者背景をプロペンシティブスコア マッチにより合わせて肝細胞癌を根治したのちに DAAs を導入し HCV を駆除した症例における肝細胞癌の多中心性再発の頻度に関する検討では、根治術後に DAAs でウイルスを駆除された症例での肝癌再発率は、ウイルスを駆除されなかった症例に比べて優位に低かったことが明らかとなった。令和 3 度の DAAs による HCV を駆除後の発癌頻度の発癌危険因子による層別化に関する検討では、肝発癌の危険因子である男性、年齢 62 歳以上、r-GTP44 以上、FIB-4 index 4.6 以上を各々 1 点とスコア化すると、HCV 駆除後の肝細胞癌の発生率は、危険因子スコアごとに層別化され、危険因子スコアが低い方が、発癌率が低かった。このため、危険因子スコア 0 点、1 点の症例のサーベイランスは 1 年に 1 回程度が妥当と考えられた。DAAs による初発肝細胞癌根治術後の予後延長効果に関する検討では、肝細胞癌根治後に DAAs で HCV を駆除することで予後の改善が認められ、肝癌死、肝不全死のみならず、肝疾患以外の死亡も抑制されることが明らかとなった。

### A. 研究目的

近年、HBs 抗原陰性、HCV 抗体陰性の症例からの肝発癌が増加傾向にあるが、HCV 持続感染は依然として本邦における肝発癌の強力な危険因子である。近年、HCV は DAAs の導入により、約 97%と極めて高率にしかも短期間に駆除できるようになった。しかし、HCV 駆除後に発癌する症例が存在することも事実である。さらに、本邦における肝発癌の特徴の一つとして他国に比べ発癌年齢が高齢化してい

ることが挙げられる。Kanwal らは前向き試験で DAAs により HCV が駆除された症例は、ウイルスが駆除されなかった症例に比べて SVR 後の肝発癌率が低下すると報告している。我々は 2018 度の多施設前向き検討において、DAAs 治療前に肝細胞癌を発症していない症例全体での 1,2,3 年発癌率は各々 1.3%, 2.9%, 4.9%であったが肝発癌の危険因子である、高齢、男性、FIB-4 index 高値、r-GTP 高値を満たす症例での 1,2,3 年発癌率は各々 7.9%, 17.5%, 25.0%と高率で

あることを報告した。本邦における肝発がんが高齢化していることを考えると、高齢者に対し DAA による HCV を駆除することがどの程度肝細胞癌の発症抑制に貢献しているかを明らかにすることは重要と考えられる。また、肝細胞癌(HCC)を治療後に HCV を駆除する機会も DAA 導入後に飛躍的に増加した。元来、HCC は根治術を施行しても高率に多中心性再発することが知られている。従って、実臨床において HCV の駆除が根治術後の肝細胞癌の再発予防や、予後改善に寄与するか否かを検討することは重要であると考えられる。さらに、2018 年に導入された、HCV 由来の非代償性肝硬変症に使用可能なソフォスブビル+ベルパタスビルが非代償性肝硬変症において HCV 駆除後に肝予備能や臨床症状がどのように改善していくかの長期的観察に関する報告は乏しい。従って、2019 年度から 2021 年度は、HCV に起因する非代償性肝硬変症に対するソフォスブビル+ベルパタスビルの実臨床における治療効果、安全性、および肝予備能や臨床症状の改善に関する検討、高齢者において DAA による HCV が駆除された後の HCC 発症頻度の検討、DAA による HCV 駆除後の肝発癌に関し、肝発癌に關与する危険因子 4 個を各々 1 点とし 0 点から 4 点に分けて各々のスコアで肝発がん率が層別化できるかの検討、さらに、HCC 根治術後に DAA による HCV 駆除が HCC 再発率と予後に及ぼす影響について比較した。

## B. 研究方法

### 1. HCV に起因する非代償性肝硬変症に対するソフォスブビル+ベルパタスビルの実臨床における治療効果、安全性、および肝予備能や臨床症状の改善に関する検討

#### a. 症例

久留米大学病院および関連の施設にてソフォスブビル+ベルパタスビルの治療を行った 32 例を対象とした。

#### b. 背景因子の検討

治療効果、治療前および治療終了後の肝機能及び肝予備能の変化、Child-Pugh score の変化、胸・腹水、肝性脳症の変化、安全性・副作用の評価。

## C. 倫理面での配慮

久留米大学の倫理委員会の承認を受けて検討を行った。久留米大学倫理委員会承認番号：14178

## 2. 高齢者における DAA 治療による HCV 駆除後の肝発癌に関する多施設による後ろ向き検討(SAKS Study)

### a. 症例

久留米大学消化器内科、佐賀大学医療支援学講座江口有一郎教授、産業医科大学第三内科原田大教授との多施設共同研究(SAKS study)にて各々の大学病院と関連の 60 施設にて DAA 治療を行った C 型慢性肝疾患患者 4,040 例のうち SVR12 が得られ、その後の追跡調査が可能であった 2,509 例を対象とした。

### b. 検討項目

65 歳以上の高齢者における肝発癌率の DAA による SVR 症例と HCV 陽性症例での比較。サブ解析として 65 歳から 69 歳と 70 歳から 75 歳までの年齢別での肝発癌率の DAA による SVR 症例と HCV 陽性症例での比較。慢性肝炎症例と肝硬変症例別の肝発癌率の DAA による SVR 症例と HCV 陽性症例での比較。プロペンシティブスコア マッチ後の肝発癌率の DAA による SVR 症例と HCV 陽性症例での比較。

## 3. DAA による HCV 駆除後の発癌頻度の発癌危険因子による層別化に関する検討

### a. 症例

SAKS study group(久留米大学消化器内科、産業医科大学第三内科、佐賀大学肝疾患医療支援学講座)で集積された HCV の SVR 症例 4,943 例のうち DAA 終了後 6 カ月までの発がん無しで観察期間が 6 カ月以上の症例 2,539 例を対象とした。男性は 1,036 名、女性は 1,503 例であり、年齢は  $67.5 \pm 11.5$  歳であった。肝発がんの危険因子である r-GTP は  $48 \pm 61$  IU/L、FIB-4 index は  $3.7 \pm 2.9$  であり、平均観察期間は  $2.9 \pm 1.5$  年であった。

### b. 検討項目

HCV 駆除後の HCC の経時的な発癌率。さらに、2018 年の本研究班において報告した、DAA による HCV 駆除後の肝発がんの危険因子である高齢(62 歳以上)、男性、FIB-4 index  $\geq 4.6$ 、r-GTP  $\geq 44$  の 4 つを各々 1 点とスコア化し、トータルのスコアが 0,1,2,3,4 点の症例における経時的肝発がん率を検討した。

## 4. HCC 根治治療後の DAA による HCV 駆除が HCC 再発、予後延長に寄与するかに関する検討

### a. 症例

対象はミラノ基準を満たす初発 HCC 症例のうち 2003 年から 2017 年までに久留米大学病院で肝切除

術もしくはラジオ波焼灼療法で根治的治療を受けた症例 485 例。このうち、43 例は 1 回目の HCC 根治術後に DAAs 治療により HCV が駆除された。

## b. 検討項目

全症例の累積再発率、生存率、HCC 根治術後の再発率、解析に用いた 485 例のうち根治術後に DAAs やインターフェロンで HCV を駆除していない症例と HCV 駆除療法を行うも駆除できなかった症例 442 例を対照とし、プロペンシティブスコア マッチにて背景因子をそろえたのちに、累積再発率、生存期間、HCC 根治術後の再発率を比較検討した。HCC 再発に関与する因子、DAAs により HCV が駆除された症例と HCV 感染が持続する症例での HCC 再発の比較について解析を行った。さらに、DAAs による HCV 駆除の有無による死亡原因別の予後の変化に関する検討した。

## C. 研究成果

### 1. HCV に起因する非代償性肝硬変症に対するソフォスビル+ペルパタスビルの実臨床における治療効果、安全性、および肝予備能や臨床症状の改善に関する検討

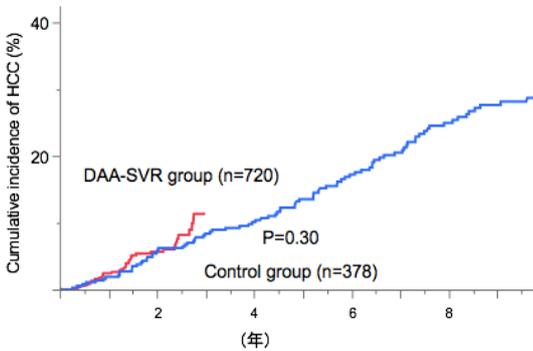
対象 32 症例のうち、HCV Genotype は 1 型が 24 例、2 型が 8 例であった。治療前の肝予備能は、Child-Pugh score 6 点が 2 例、7 点が 6 例、8 点が 10 例、9 点が 8 例、10 点が 2 例、11 点が 2 例、13 点、14 点が各々 1 例ずつであった。治療した全例で HCV RNA の陰性化が確認された。治療終了後 24 週目まで観察しえた 19 例においては、アルブミン値は治療終了後 12 週目以降も有意に増加傾向を示した。プロトロンビン時間は治療前と比べると有意差はなかった。治療前に比べて Child-Pugh score の改善を認めた症例が 18 例、不変が 9 例、悪化が 1 例であった。改善した症例のうち、score で 1 点改善が 10 例と最も多く、2 点が 6 例、3 点が 2 例であった。改善した項目は、アルブミン値が 13 例、総ビリルビン値が 3 例、プロトロンビン時間が 3 例、腹水が 7 例であった。胸・腹水は治療前に存在した 16 例のうち 7 例で軽快した。肝性脳症に関しては、治療前に認められた 9 例のうち、4 例で認められなくなったが、5 例はその後再発が認められた。副作用は 10 例に認められ、その内訳は、倦怠感が 2 例、悪心・嘔吐が 2 例、掻痒感が 2 例、感冒様症状が 2 例、頭痛が 1 例であった。さ

らに、治療中に静脈瘤の破裂による死亡が 1 例に認められた。この症例は Child-Pugh score 14, MELD score 28 で肝移植を検討中の症例であった。

### 2. 高齢者における DAAs 治療による HCV 駆除後の肝発癌に関する多施設による後ろ向き検討 (SAKS Study)

SAKS study に参加した各施設で DAAs を用いて治療を行った症例 4,803 例で著効(SVR12)が確認され、その後の経過観察が可能であった 2,509 例のうち DAAs 治療以前に肝細胞癌の既往のない症例は 2,185 例であった。このうち、2014 年 9 月から 2017 年 12 月までに DAAs 導入され且つ年齢が 65 歳以上であった症例数は 730 例であった。このうち男性は 252 例、女性は 468 例であった。肝硬変と慢性肝炎は各々、105 例、615 例であった。DAAs 治療時からの平均観察期間 1.7±1.3 年の間に肝発癌を来した症例時は 730 例中 38 例(5.2%)であった。DAAs 治療前に肝細胞癌を発症していない症例全体での 1,2 年発がん率は各々 2.4%, 5.9%であった。一方、対照群の 1,2 年発がん率は各々 1.9%, 5.7%で、両群間に有意差はなかった( $p=0.30$ )。DAAs 治療群と対照群間で多くの背景因子に違いが認められたため、これらの背景因子をプロペンシティブスコア マッチによりそろえて肝発癌率を比較しても、やはり両群間に有意差はなかった( $p=0.07$ )(図.1)。慢性肝炎で DAAs が導入され、SVR となった症例 615 例の 1,2 年累積発がん率は各々、1.3%, 3.5%であり、対照群 274 例の 1,2 年発がん率は各々 1.1%, 2.6%で、両群間に有意差はなかった( $p=0.14$ )。一方、肝硬変で DAAs が導入され、SVR となった症例 105 例の 1,2 年累積発がん率は各々、9.1%, 17.1%であり、対照群 104 例の 1,2 年発がん率は各々 3.9%, 15.4%で、やはり両群間に有意差はなかった( $p=0.12$ )。

図1. プロペンシティブスコア マッチ後 DAAによるSVRとなった後の肝発癌率と非ウイルス駆除症例の肝発癌率の比較



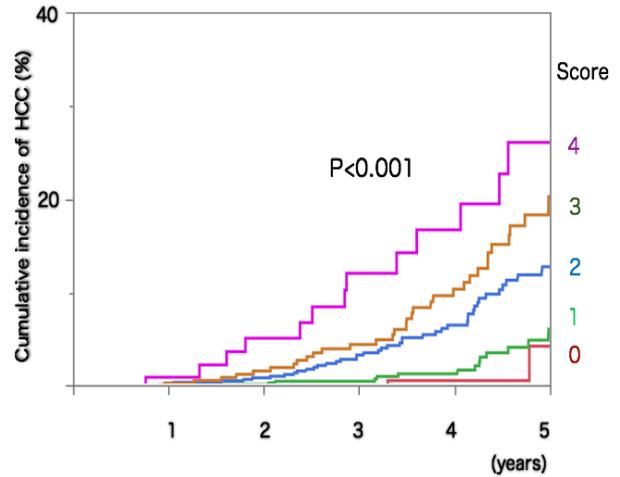
### 3. DAAによるHCV駆除後の発癌頻度の発癌危険因子による層別化に関する検討

DAAによるHCV駆除後の観察で2,539症例から観察期間中に123症例(4.8%)で肝発癌が認められた。1年、3年、5年発がん率は各々0.4%、2.7%、11.8%であった。

次に、DAAによるHCV駆除後の肝発がんの危険因子である高齢(62歳以上)、男性、FIB-4 index $\geq$ 4.6、r-GTP $\geq$ 44の4つを各々1点とスコア化し、トータルの危険因子スコアが0,1,2,3,4点の症例における観察期間中の発がん率を検討した。スコア0点の症例273例中肝発癌をきたした症例は、わずか2例(0.7%)であり、スコア1点,2点,3点,4点の症例では各々、885例中21例(2.4%), 886例中49例(5.5%), 407例中38例(9.3%), 88例中13例(14.7%)に肝発癌が認められた。

次に、危険因子スコア0,1,2,3,4点における各々の症例の累積発がん率を検討した。その結果、DAAによるHCV駆除後の累積発がん率は、危険因子スコア0で最も低く、スコアが増えるに従い増加した(図2 p<0.001)

図2 危険因子スコア別累積発癌率



### 4. HCC根治治療後のDAAによるHCV駆除がHCC再発、予後延長に寄与するかに関する検討

全症例の累積再発率は、根治術後1年で19.3%、2年で43.6%、3年で59.5%であった。一方、累積生存率は、5年生存率が69.7%、10年生存率が39.5%、15年生存率が22.8%であった。HCC根治術後の再発に関する検討において、プロペンシティブスコアマッチ前では、DAAによるHCV駆除例では1,3,5年再発率が、各々9.3%、48.9%、69.8%であり、HCV非駆除例では1,3,5年再発率が、各々24.3%、70.0%、81.7%で、有意にDAAでHCC根治術後にHCVを駆除した症例の方が、HCCの再発率は低かった。プロペンシティブスコアマッチにて症例の背景を合わせたのちの検討でも、HCV駆除例では1,3,5年再発率が、各々7.4%、44.7%、52.1%であり、HCV非駆除例では1,3,5年再発率が、各々24.4%、59.6%、76.5%で、こちらも有意にDAAでHCC根治術後にHCVを駆除した症例の方が、HCCの再発率は低かった(図3-a)。根治術後のHCCの再発様式に関する検討では、DAAにてウイルスを駆除した症例では、肝予備能が良好であり、再発した腫瘍も単発例が多く、治療も切除やラジオ波焼灼療法などの根治術が行えた症例が多かった。次に、累積生存率において、プロペンシティブスコアマッチ後では、HCCの根治術後にDAAでHCVを駆除した症例の1,3,5,7年生存率は、各々100%、94.3%、91.3%、91.3%で、年間死亡率はわずか2%あった(図3-b)。一方、HCVを駆除しなかった症例では、1,3,5,7年生存率は、各々100%、78.4%、51.8%、31.9%で、有意にDAAでHCVを駆除した症例群で予後が良好であった(図3-b)。

図.3-a プロペンシティブスコア マッチ後の HCC 累積再発率

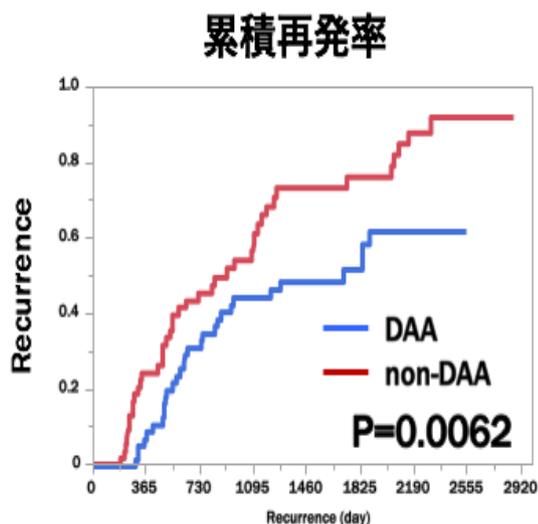
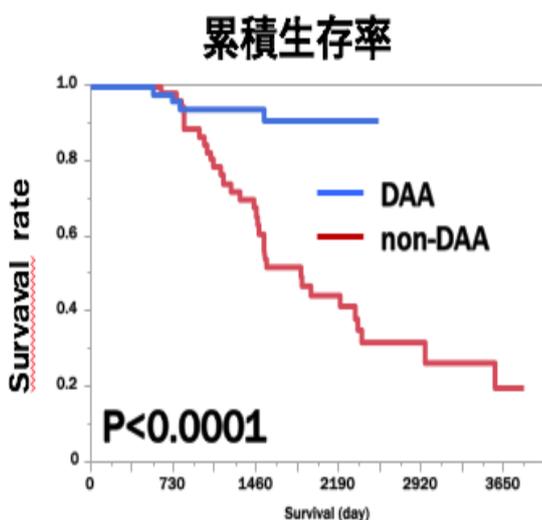


図.3-b プロペンシティブスコア マッチ後の HCC 累積生存率



死因に関する検討では、DAAs で HCV を駆除した症例 60 例のうち観察期間に 4 例が死亡した。このうち 2 例は肝細胞癌死であり、残りの 2 例は肝疾患以外の死亡であった。一方、HCV を駆除しなかった症例 169 例のうち、105 例が死亡した。このうち 53 例は肝細胞癌死であり、21 例は肝不全死、残りの 28 例は肝疾患以外の死亡であった。また、3 例は死因が不明であった。

## D. 考察

HCV に起因する非代償性肝硬変症に対するソフォスブビル+ベルパタスビルの治療効果、安全性、および肝予備能や臨床症状の改善に関する今回の実臨床における検討において、32 例の治療症例のうち全例が SVR12 を達成した。肝機能のうち AST, ALT, アルブミンは有意に増加し、AFP は減少した。また、治療終了後 24 週まで観察例では、治療終了後 12 週から 24 週までアルブミン値と PT の持続的な改善を認めた。肝予備能の改善に関しては、評価しえた 28 例中 18 例がスコアの改善を認めた。しかし、9 例で改善がなく、1 例は悪化を認めた。竹原らが報告した国内臨床試験の結果では、HCV が駆除されたのち 12 週後に Child-Pugh class B から class A へ改善がみられたのが 21%, class C から B への改善は 5% に認められた。一方、改善が認められなかったのは、class B で 72%, class B から class C への悪化は 2% に認められた。慢性肝炎や代償性肝硬変においては DAAs にて C 型肝炎ウイルスが駆除された症例ではほぼ 100% 肝予備能の改善を認めていたが、非代償性肝硬変症では、肝予備能の改善が認められない症例が存在するばかりでなく、悪化する症例も存在することが今回の検討でも明らかとなった。今後さらに長期的観察で肝予備能の改善がみられるのか否かが明らかになると思われる。さらに今後の課題として、どのような症例で肝予備能の改善が期待できるのかを明らかにする必要があると考えられた。

高齢者における HCV 駆除後の肝発癌に関して、背景因子を合わせた検討で HCV 駆除後 1,2 年発がん率は、HCV が駆除されなかった同世代の対照症例に比べ差が認められなかった。サブ解析として、65 歳から 69 歳、70 歳から 75 歳に分けての検討でも同世代の対照症例に比べて肝発がん率に差は認められなかった。現在までに報告された DAAs 治療により SVR となった症例と HCV が駆除されなかった症例における肝発がん率の比較は、前向き試験、後ろ向き試験何れにおいても DAAs で HCV を駆除したほうが肝発がん率が低下するという報告である。今回の検討結果が、従来の報告と異なり DAAs 治療群と非治療群間に肝発がん率に差が認められなかった理由として考えられるのは二点あると思われる。一点目は、今回の検討を高齢者に絞ったことである。現在、本邦の肝発がん年齢は高齢化してきており、平均肝発が

ん年齢は 70 歳を超えている。高齢は肝発がんの危険因子の一つであることから、今回肝発がんのポテンシャルの高い症例群に絞って検討した結果、HCV の肝発がんへの影響が弱められた可能性が考えられる。もう一点は、今回用いた症例に DAA 導入初期の用いられたダクラタスビル・アスナプレビル治療症例が多く含まれていることである。DAA 導入初期にはもともと肝発がんの危険性が高まっている進展した肝疾患症例が多く含まれており、これらの症例からの肝発がんが DAA 治療諸油冷の肝発がん率を引き上げている可能性である。よって、高齢者において、HCV の駆除が肝発がんを抑制するの可否かの結論は、もうしばらく経過を観察してから下したほうがいいのかもわからない。

次に、HCV 駆除症例からの肝発癌における危険因子である、男性、年齢 62 歳以上、r-GTP44 以上、FIB-4 index 4.6 以上を各々危険因子スコア 1 点として、スコア別に DAA による HCV 駆除後の肝発癌率が増加するかを検討した。その結果、いずれの危険因子でも危険因子スコア 1 点の場合の肝発がん率に有意な違いはなかった (data not shown)。唯一、危険因子スコア 2 点において、男性で FIB-4 index 4.6 以上のコホートと r-GTP 44 以上と FIB-4 index 4.6 以上のコホートにおいて他の危険因子スコア 2 点のコホートに比べて肝発がん率が高かったが、この理由は不明である。危険因子スコア別の累積発がん率は危険因子スコアの低いコホートで有意に高かった。危険因子スコア 0 点もしくは 1 点のコホートでは、年間の発がん率が 1%以下であり、このような症例における肝細胞癌のサーベイランスは 1 年に 1 回で可能と考えられる。反対に危険因子スコア 3-4 点の症例は、HCV 駆除後も引き続き嚴重なサーベイランスが必要と考えられる。

最後に HCC 根治治療後の DAA による HCV 駆除が再発抑制や予後延長に寄与するかに関する検討において、HCC 根治術後に DAA にて HCV を駆除した症例では、HCV を駆除しなかった症例に比べて、有意に HCC の累積再発率が低く、累積生存率が良好であった。しかし、累積再発率に比べて累積生存率の差が HCV 駆除群と非駆除群間で著しかったことから、HCV 駆除例でもある一定の頻度で HCC の再発は起こるものの、サーベイランスが行き届いており、かつ肝予備能が改善しているため、再発した HCC に対し

高頻度で根治術を施

行しえたため、肝細胞癌死、肝不全死も抑制されると考えられる。

## E. 結論

HCV に起因する非代償性肝硬変症に対するソフォスビル+ベルパタスビルの治療効果に関する検討では、HCV 駆除後も肝予備能の改善が認められない症例が存在するばかりでなく悪化する症例も存在することが実臨床においても明らかとなった。高齢者の DAA 治療で HCV 駆除後の肝発癌に関する検討では、HCV 駆除後の発がん率は、HCV が駆除されなかった同世代の対照症例に比べ差が認められなかった。DAA による HCV 駆除後の発癌頻度の発癌危険因子による層別化に関する検討では、危険因子スコア別の累積発がん率は危険因子スコアの低いコホートで有意に高かった。HCC 根治治療後の DAA による HCV 駆除が HCC 再発、予後延長に寄与するかに関する検討では、HCC 根治術後に DAA にて HCV を駆除した症例では、HCC の再発率が低く、生存率が良好であった。

## F. 研究危険情報

特になし

## G. 研究発表

### 1 論文発表

1. Oeda S, Takahashi H, Isoda H, Komukai S, Imajo K, Yoneda M, Ono M, Hyogo H, Kawaguchi T, Fujii H, Kawanaka M, Sumida Y, Tanaka S, Kawamoto H, Torimura T, Saibara T, Kawaguchi A, Nakajima A, Eguchi Y. Infection phase is a predictor of pruritus in patients with hepatitis B virus infection. *Biomedical Reports*. 11: 2. 63-69, 2019.
2. Kawaguchi T, Ide T, Kondo R, Nomura Y, Arinaga-Hino T, Kuwahara R, Amano K, Sano T, Akiba J, Ohshima K, Yano H, Torimura T. Histological changes in patients who developed hepatocellular carcinoma after hepatitis C virus eradication by interferon-based therapy. *Experimental and Therapeutic Medicine*. 18; 5. 3991-4001, 2019.
3. Ide T, Koga H, Nakano M, Hashimoto S, Yatsushashi H, Higuchi N, Nakamuta M, Oeda S, Eguchi Y, Shakado S, Sakisaka S, Yoshimaru Y, Sasaki Y, Honma Y, Harada M, Seike M, Maeshiro T, Miuma S, Nakao K, Mawatari S, Ido A, Nagata K, Matsumoto S, Takami Y, Sohda T, Kakuma T, Torimura T. Direct-acting antiviral agents do not increase the incidence of hepatocellular carcinoma

- development: a prospective, multicenter study. *Hepatology International*. 13: 3. 293-301, 2019.
4. Shimose S, Tanaka M, Iwamoto H, Niizeki T, Shirono T, Aino H, Noda Y, Kamachi N, Okamura S, Nakano M, Kuromatsu R, Kawaguchi T, Kawaguchi A, Koga H, Yokokura Y, Torimura T. Prognostic Impact of Transcatheter Arterial Chemoembolization (TACE) Combined with Radiofrequency Ablation in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma: A Comparison to TACE Alone using Decision-tree Analysis after Propensity Score Matching. *Hepatology Research*. 49: 8. 919-928, 2019.
  5. Noda Y, Kawaguchi T, Korenaga M, Yoshio S, Komukai S, Nakano M, Niizeki T, Koga H, Kawaguchi A, Kanto T, Torimura T. High Serum Interleukin-34 Level is a Predictor of Poor Prognosis in Patients with Non-viral Hepatocellular Carcinoma. *Hepatology Research*. 49: 9. 1046-1053, 2019.
  6. Nagamatsu A, Kawaguchi T, Hirota K, Koya S, Tomita M, Hashida R, Kita Y, Narao H, Manako Y, Tanaka D, Koga N, Nakano D, Niizeki T, Matsuse H, Torimura T, Shiba N. Slow Walking Speed Overlapped with Low Hand Grip Strength in Chronic Liver Disease Patients with Hepatocellular Carcinoma. *Hepatology Research*. 49: 12. 1427-1440, 2019.
  7. Tateishi R, Uchino K, Fujiwara N, Takehara T, Okanoue T, Seike M, Yoshiji H, Yatsushashi H, Shimizu M, Torimura T, Moriyama M, Sakaida I, Okada H, Chiba T, Chuma M, Nakao K, Isomoto H, Sasaki Y, Kaneko S, Masaki T, Chayama K, Koike K. A nationwide survey on non-B, non-C hepatocellular carcinoma in Japan: 2011-2015 update. *Journal of Gastroenterology*. 54: 4. 367-376, 2019.
  8. Kodama K, Kawaguchi T, Hyogo H, Nakajima T, Ono M, Seike M, Takahashi H, Nozaki Y, Kawanaka M, Tanaka S, Imajo K, Sumida Y, Kamada Y, Fujii H, Seko Y, Takehara T, Itoh Y, Nakajima A, Masaki N, Torimura T, Saibara T, Karino Y, Chayama K, Tokushige K. Clinical features of hepatocellular carcinoma in nonalcoholic fatty liver disease patients without advanced fibrosis. *Journal of Gastroenterology and Hepatology*. 34: 9. 1626-1632, 2019.
  9. Kawaguchi T, Nakano D, Koga H, Torimura T. Effects of a DPP4 Inhibitor on Progression of NASH-related HCC and the p62/Keap1/Nrf2-Pentose Phosphate Pathway in a Mouse Model. *Liver Cancer*. 8: 5. 359-372, 2019.
  10. Sakaue T, Koga H, Iwamoto H, Nakamura T, Ikezono Y, Abe M, Wada F, Masuda A, Tanaka T, Fukahori M, Ushijima T, Mihara Y, Naitou Y, Okabe Y, Kakuma T, Ohta K, Nakamura K, Torimura T. Glycosylation of ascites-derived exosomal CD133 is a potential prognostic biomarker in patients with advanced pancreatic cancer. *Medical Molecular Morphology*. 52: 4. 198-208, 2019.
  11. Noda Y, Kawaguchi T, Kuromatsu R, Komukai S, Nakano M, Niizeki T, Koga H, Kawaguchi A, Torimura T. Prognostic profile of patients with non-viral hepatocellular carcinoma: A comparative study with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma using data mining analysis. *Oncology Letters*. 18:1. 227-236, 2019.
  12. Yamasaki H, Kinugasa T, Iwasaki S, Yoshioka S, Mizuochi T, Ishibashi M, Nagatsuka K, Yamauchi R, Ishibashi N, Araki T, Mori A, Akagi Y, Mitsuyama K, Torimura T. Questionnaire Survey from the 1st Kurume University Inflammatory Bowel Disease Center Educational Lecture. *The Kurume Medical Journal*. 65: 3. 109-112, 2019.
  13. Sakaue T, Koga H, Iwamoto H, Nakamura T, Ikezono Y, Abe M, Wada F, Masuda A, Tanaka T, Fukahori M, Ushijima T, Mihara Y, Naitou Y, Okabe Y, Kakuma T, Ohta K, Nakamura K, Torimura T. Glycosylation of ascites-derived exosomal CD133 is a potential prognostic biomarker in patients with advanced pancreatic cancer. *Medical Molecular Morphology*. 52: 4. 198-208, 2019.
  14. Yoshitake M, Fukunaga S, Torimura T. Abdominal pain and prolonged fever of unknown cause in a 14-year-old boy. *Gastroenterology*. 156: e1-e3, 2019. 6
  15. 田中俊光、三輪啓介、深堀 理、四方田隆任、阪上尊彦、長主祥子、牛島知之、古賀浩徳、鳥村拓司. Modified FOLFOX6+Panitumumab療法中に高アンモニア血症による意識障害を発症した切除不能進行大腸癌の1例. *癌と化学療法*. 46; 259-262, 2019. 2
  16. 川口 巧、鳥村拓司. 脂肪肝・NASHの人種差とやせ型NASH. *Medical Practice*. 36: 9 1395-1399, 2019.
  17. 川口 巧、角田圭雄、鳥村拓司. NAFLD/NASHの薬物療法の現状と展望. *Pharma Medica*. 37: 19 55-59, 2019.
  18. 川口 巧、中野 暖、鳥村拓司. 肝性脳症の発症機序と誘発因子—最近の考え方—. *肝胆膵*. 78: 3 355-360, 2019.
  19. 広田桂介、川口 巧、橋田竜騎、永松あゆ、神谷俊次、中野 暖、松瀬博夫、志波直人、鳥村拓司. 【特集：肝疾患におけるサルコペニア】サルコペニア治療とマネジメント. *消化器・肝臓内科*. 5:1 103-110, 2019.
  20. 中野 暖、山村咲良、川口 巧、鳥村拓司. 基礎疾患を有するNAFLD/NASHの治療. *消化器の臨床*. 22: 4 303-308, 2019.
  21. 岡部義信、牛島知之、安元真希子、石田祐介、

- 阪上尊彦、深堀 理、島松 裕、寺部寛哉、鶴田 修、鳥村拓司。悪性胆道狭窄ステントイングのステント機能不全に対する内視鏡的対処法。消化器内視鏡。31: 5 806-811, 2019.
22. 岡部義信、牛島知之、安元真希子、石田祐介、阪上尊彦、深堀 理、島松 裕、寺部寛哉、鶴田 修、鳥村拓司。胆管結石除去時のトラブルシューティング-結石除去の工夫とバスケット嵌頓時の対応について-。消化器内視鏡。31: 11 1677-1683, 2019.
23. 神谷俊次、川口 巧、橋田竜騎、志波直人、鳥村拓司。サルコペニアは脂肪肝でも重要。内科。123: 5 1147-1149, 2019.
24. 永田 務、鶴田 修、草場喜雄、森田 拓、中根智幸、大内彬弘、徳安秀紀、福永秀平、火野坂淳、向笠道太、江森啓悟、上野恵里奈、河野弘志、光山慶一、鳥村拓司。大腸 NBI 拡大観察の基本と最新知見。胃と腸。54: 1 9-16, 2019.
25. 河野弘志、鶴田 修、上野恵里奈、菅原脩平、後藤諒介、深水 航、柴田 翔、渡邊裕次郎、山田康正、伊藤陽平、小林起秋、光山慶一、鳥村拓司。主題：隆起型早期大腸癌の病態と診断 PG type 隆起型早期大腸癌の内視鏡診断 通常内視鏡観察の立場から。胃と腸。54: 6 847-858, 2019.
26. 大内彬弘、鶴田 修、荒木俊博、長 知徳、草場喜雄、中根智幸、徳安秀紀、永田 務、福永秀平、火野坂淳、向笠道太、江森啓悟、上野恵里奈、河野弘志、光山慶一、鳥村拓司。PG type と NPG type 隆起型早期大腸癌における生物学的悪性度の相違。胃と腸。54: 6 889-896, 2019.
27. Kawaguchi T, Nakano D, Torimura T. Chapter 7 Diabetes in Liver Disease. Alcoholic/Non-Alcoholic Digestive Diseases. p. 65-86, 2019.
28. Yamasaki H, Mitsuyama K, Yoshioka S, Kuwaki K, Yamauchi R, Fukunaga S, Mori A, Tsuruta O, Torimura T. Leukocyte Apheresis Using a Fiber Filter Suppresses Colonic Injury Through Calcitonin Gene-Related Peptide Induction. Inflammatory bowel diseases. 11: 26 709-719, 2020.
29. 安元真希子、荒木俊博、岡部義信、新関 敬、城野智毅、石田祐介、牛島知之、阪上尊彦、鶴田 修、鳥村拓司。巨大総胆管結石に併発した膵十二指腸動脈瘤破裂による胆道出血の 1 救命例。日本消化器病学会雑誌。117: 1 92-98, 2020.
30. Iwamoto H, Suzuki H, Shimose S, Niizeki T, Nakano M, Shirono T, Okamura S, Noda Y, Kamachi N, Nakamura T, Masuda A, Sakaue T, Tanaka T, Nakano D, Sakai M, Yamaguchi T, Kuromatsu R, Koga H, Torimura T. Weekends-Off Lenvatinib for Unresectable Hepatocellular Carcinoma Improves Therapeutic Response and Tolerability toward Adverse Events. Cancers. 12: 4. 1010, 2020.
31. Shimose S, Iwamoto H, Niizeki T, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Okamura S, Nakano M, Suga H, Kuromatsu R, Yamaguchi T, Kawaguchi T, Tanaka M, Noguchi K, Koga H, Torimura T. Clinical Significance of Adverse Events for Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma Treated with Lenvatinib: A Multicenter Retrospective Study. Cancers. 12: 7. 1867, 2020.
32. Sakemi R, Mitsuyama K, Morita M, Yoshioka S, Kuwaki K, Tokuyasu H, Fukunaga S, Mori A, Araki T, Yoshimura T, Yamasaki H, Tsuruta K, Morita T, Yamasaki S, Mizoguchi A, Sou S, Torimura T. Altered serum profile of the interleukin-22 system in inflammatory bowel disease. Cytokine. 136; 155264, 2020.
33. Kudo M, Ueshima K, Ikeda M, Torimura T, Tanabe N, Aikata H, Izumi N, Yamasaki T, Nojiri S, Hino K, Tsumura H, Kuzuya T, Isoda N, Yasui K, Aino H, Ido A, Kawabe N, Nakao K, Wada Y, Yokosuka O, Yoshimura K, Okusaka T, Furuse J, Kokudo N, Okita K, Johnson PJ, Arai Y; TACTICS study group. Randomised, multicentre prospective trial of transarterial chemoembolisation (TACE) plus sorafenib as compared with TACE alone in patients with hepatocellular carcinoma: TACTICS trial. Gut. 69: 8. 1492-1501, 2020.
34. Nakano M, Kuromatsu R, Niizeki T, Okamura S, Iwamoto H, Shimose S, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Koga H, Torimura T. Primary Treatment with Molecular-Targeted Agents for Hepatocellular Carcinoma: A Propensity Score-matching Analysis. Hepatology Communications. 4: 8. 1218-1228, 2020.
35. Yamamura S, Kawaguchi T, Nakano D, Tomiyasu Y, Yoshinaga S, Doi Y, Takahashi H, Anzai K, Eguchi Y, Torimura T, Shiba N. Profiles of advanced hepatic fibrosis evaluated by FIB-4 index and shear wave elastography in health check up examinees. Hepatology Research. 50: 2. 199-213, 2020.
36. Hirota K, Kawaguchi T, Koya S, Nagamatsu A, Tomita M, Hashida R, Nakano D, Niizeki T, Matsuse H, Shiba N, Torimura T. Clinical utility of the Liver Frailty Index for predicting muscle atrophy in chronic liver disease patients with hepatocellular carcinoma. Hepatology Research. 50: 3. 330-341, 2020.
37. Yamasaki H, Mitsuyama K, Yoshioka S, Kuwaki K, Yamauchi R, Fukunaga S, Mori A, Tsuruta O, Torimura T. Leukocyte Apheresis Using a Fiber

- Filter Suppresses Colonic Injury Through Calcitonin Gene-Related Peptide Induction. *Inflammatory bowel diseases*. 11: 26. 709-719, 2020.
38. Narao H, Hirota K, Koya S, Tomita M, Manako Y, Ogawa S, Nakao N, Tsutsumi T, Nakano D, Hashida R, Kawaguchi T, Matsuse H, Nagamatsu H, [Torimura T](#). Effects of In-Hospital Physical Therapy on Activities of Daily Living in Patients with Hepatocellular Carcinoma. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 17: 23. 9098, 2020.
  39. Nakano D, Kawaguchi T, Tsutsumi T, Yamamura S, Shigeto K, Hashida R, Koga H, [Torimura T](#). Alteration of the serum myostatin level following L-carnitine treatment in patients with chronic liver disease: A pilot study. *International Journal of Functional Nutrition*. 1: 1. 1-7, 2020.
  40. Masuda A, Nakamura T, Abe M, Iwamoto H, Sakaue T, Tanaka T, Suzuki H, Koga H, [Torimura T](#). Promotion of liver regeneration and antifibrotic effects of the TGFbeta receptor kinase inhibitor galunisertib in CCl4-treated mice. *International Journal of Molecular Medicine*. 46: 1. 427-438, 2020.
  41. Takahashi H, Nakahara T, Kogiso T, Imajo K, Kessoku T, Kawaguchi T, Ide T, Kawanaka M, Hyogo H, Fujii H, Ono M, Kamada Y, Sumida Y, Anzai K, Shimizu M, [Torimura T](#), Nakajima A, Tokushige K, Chayama K, Eguchi Y, Japan Study Group of NAFLD (JSG-NAFLD). Eradication of hepatitis C virus with direct-acting antivirals improves glycemic control in diabetes: A multicenter study. *JGH Open*. 5: 2. 228-234, 2020.
  42. Kawaguchi T, Yoshio S, Sakamoto Y, Hashida R, Koya S, Hirota K, Nakano D, Yamamura S, Niizeki T, Matsuse H, [Torimura T](#). Impact of Decorin on the Physical Function and Prognosis of Patients with Hepatocellular Carcinoma. *Journal of Clinical Medicine*. 9: 4. 936, 2020.
  43. Morita T, Mitsuyama K, Yamasaki H, Mori A, Yoshimura T, Araki T, Morita M, Tsuruta K, Yamasaki S, Kuwaki K, Yoshioka S, Takedatsu H, [Torimura T](#). Gene Expression of Transient Receptor Potential Channels in Peripheral Blood Mononuclear Cells of Inflammatory Bowel Disease Patients. *Journal of Clinical Medicine*. 9: 8. 2643, 2020.
  44. Nakano M, Kuromatsu R, Niizeki T, Okamura S, Iwamoto H, Shigeo S, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Koga H, [Torimura T](#). Evaluating the effect of intrahepatic lesion status on the prognosis of advanced hepatocellular carcinoma patients with extrahepatic metastasis: A prospective multicenter cohort study. *Journal of Translational Science*. 6 : 1-7, 2021.
  45. Yamamura S, Eslam M, Kawaguchi T, Tsutsumi T, Nakano D, Yoshinaga S, Takahashi H, Anzai K, George J, [Torimura T](#). MAFLD identifies patients with significant hepatic fibrosis better than NAFLD. *Liver International*. 40: 12. 3018-3030, 2020.
  46. Takahashi A, Abe M, Yasunaka T, Arinaga-Hino T, Abe K, Takaki A, [Torimura T](#), Zeniya M, Yoshizawa K, Kang J, Suzuki Y, Nakamoto N, Inui A, Tanaka A, Takikawa H, Ohira H. Quality of life among patients with autoimmune hepatitis in remission. *Medicine*. 99: 43 e22764, 2020.
  47. Shimose S, Kawaguchi T, Iwamoto H, Tanaka M, Miyazaki K, Ono M, Niizeki T, Shirono T, Okamura S, Nakano M, Suga H, Yamaguchi T, Yokokura Y, Noguchi K, Koga H, [Torimura T](#). Controlling Nutritional Status (CONUT) Score is Associated with Overall Survival in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma Treated with Lenvatinib: A Multicenter Cohort Study. *Nutrients*. 12: 4. 1076, 2020.
  48. Shigeto K, Kawaguchi T, Koya S, Hirota K, Tanaka T, Nagasu S, Fukahori M, Ushijima T, Matsuse H, Miwa K, Nagafuji K, [Torimura T](#). Profiles Combining Muscle Atrophy and Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio Are Associated With Prognosis of Patients With Stage IV Gastric Cancer. *Nutrients*. 12:6. 1884, 2020.
  49. Shimose S, Iwamoto H, Tanaka M, Niizeki T, Shirono T, Nakano M, Okamura S, Noda Y, Kamachi N, Sakai M, Suzuki H, Nomiyama M, Kuromatsu R, Koga H, [Torimura T](#). Increased Arterio-Portal Shunt Formation after Drug-Eluting Beads TACE for Hepatocellular Carcinoma. *Oncology*. 18: 1-8, 2020.
  50. Hashida R, Kawaguchi T, Koya S, Hirota K, Goshima N, Yoshiyama T, Otsuka T, Bekki M, Iwanaga S, Nakano D, Niizeki T, Matsuse H, Kawaguchi A, Shiba N, [Torimura T](#). Impact of cancer rehabilitation on the prognosis of patients with hepatocellular carcinoma. *Oncology Letters*. 19: 3. 2355-2367, 2020.
  51. Shimose S, Kawaguchi T, Iwamoto H, Niizeki T, Shirono T, Tanaka M, Koga H, [Torimura T](#). Indication of suitable transarterial chemoembolization and multikinase inhibitors for intermediate stage hepatocellular carcinoma. *Oncology Letters*. 19: 4. 2667-2676, 2020.
  52. Shimose S, Kawaguchi T, Tanaka M, Iwamoto H, Miyazaki K, Moriyama E, Suzuki H, Niizeki T, Shirono T, Nakano M, Suga H, Yamaguchi T, Yokokura Y, Noguchi K, Koga H, [Torimura T](#). Lenvatinib prolongs the progression-free survival time of patients with intermediate-stage hepatocellular carcinoma refractory to transarterial chemoembolization: A multicenter cohort study using data mining analysis. *Oncology Letters*. 20: 3. 2257-2265, 2020.
  53. Nakano D, Kawaguchi T, Iwamoto H, Hayakawa M, Koga H, [Torimura T](#). Effects of canagliflozin on growth and metabolic reprogramming in

- hepatocellular carcinoma cells: Multi-omics analysis of metabolomics and absolute quantification proteomics (iMPAQT). *PLoS One*. 15:4. e0232283, 2020.
54. Takahashi A, Ohira H, Abe K, Zeniya M, Abe M, Arinaga-Hino T, [Torimura T](#), Yoshizawa K, Takaki A, JKang JH, Suzuki Y, Nakamoto N, Inui A, Tanaka A& Takikawa H. Increasing incidence of acute autoimmune hepatitis: a nationwide survey in Japan. *Scientific Reports* . 10: 1. 14250, 2020.
  55. Imai T, Yamasaki H, Mitsuyama K, Yamaga O, Sugihara G, Kaida Y, Shibata R, Hazama T, Yoshioka S, [Torimura T](#), Fukami K, Yamashita N. Single Needle Granulocyte and Monocyte Apheresis for Ulcerative Colitis: A Retrospective Safety Analysis. *The Kurume Medical Journal*. 66; 1. 1-17, 2020.
  56. Iwanaga S, Hashida R, Takano Y, Bekki M, Nakano D, Omoto M, Nago T, Kawaguchi T, Matsuse H, [Torimura T](#), Shiba N. Hybrid Training System Improves Insulin Resistance in Patients with Nonalcoholic Fatty Liver Disease: A Randomized Controlled Pilot Study. *The Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 252: 1. 23-32, 2020.
  57. Shindo Y, Mitsuyama K, Yamasaki H, Imai T, Yoshioka S, Kuwaki K, Yamauchi R, Yoshimura T, Araki T, Morita M, Tsuruta K, Yamasaki S, Fukami K, [Torimura T](#). Safety and efficacy of single-needle leukocyte apheresis (LCAP) for treatment of ulcerative colitis. *Therapeutic Apheresis and Dialysis*. 24:5. 503-510, 2020.
  58. Kawaguchi T, Yamamura S, Nakano D, Tomiyasu Y, Yoshinaga S, Doi Y, Takahashi H, Anzai K, Eguchi Y, [Torimura T](#). An Association between Mild-to-moderate Drinking and Hepatic Fibrosis Evaluated by Shear Wave Elastography in Health Check-up Examinees. *アルコールと医学生物学* Vol. 39. 39: 40-41, 2020.
  59. Sano T, Amano K, Ide T, Kawaguchi T, Kuwahara R, Arinaga-Hino T, Koga H, Kuromatsu R, [Torimura T](#). Short-term efficacy after switching from adefovir dipivoxil and tenofovir disoproxil fumarate therapy to tenofovir alafenamide for chronic hepatitis B. *Biomedical Reports*. 14: 1. 12, 2021.
  60. Shimose S, Hiraoka A, Nakano M, Iwamoto H, Tanaka M, Tanaka T, Noguchi K, Aino H, Ogata K, Kajiwara M, Itano S, Yokokura Y, Yamaguchi T, Kawano H, Matsukuma N, Suga H, Niizeki T, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Okamura S, Kawaguchi T, Koga H, [Torimura T](#). First-line sorafenib sequential therapy and liver disease etiology for unresectable hepatocellular carcinoma using inverse probability weighting: A multicenter retrospective study. *Cancer Medicine*. 10: 23. 8530-8541, 2021.
  61. Shirono T, Koga H, Niizeki T, Nagamatsu H, Iwamoto H, Shimose S, Nakano M, Okamura S, Noda Y, Kamachi N, Kuromatsu R, Ogo E, [Torimura T](#). Usefulness of a novel transarterial chemoinfusion plus external-beam radiation therapy for advanced hepatocellular carcinoma with tumor thrombi in the inferior vena cava and right atrium: Case study. *Cancer Reports*. inpress 2021.
  62. Kamachi N, Nakano M, Okamura S, Niizeki T, Iwamoto H, Shimose S, Shirono T, Noda Y, Kuromatsu R, Koga H, [Torimura T](#). Evaluating the therapeutic effect of lenvatinib against advanced hepatocellular carcinoma by measuring blood flow changes using contrast-enhanced ultrasound. *Cancer Reports*. inpress 2021.
  63. Shimose S, Iwamoto H, Tanaka M, Niizeki T, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Okamura S, Nakano M, Suga H, Yamaguchi T, Kawaguchi T, Kuromatsu R, Noguchi K, Koga H, [Torimura T](#). Alternating Lenvatinib and Trans-Arterial Therapy Prolongs Overall Survival in Patients with Inter-Mediate Stage HepatoCellular Carcinoma: A Propensity Score Matching Study. *Cancers*. 13: 1. 160, 2021.
  64. Iwamoto H, Niizeki T, Nagamatsu H, Ueshima K, Nomura T, Kuzuya T, Kasai K, Kooka Y, Hiraoka A, Sugimoto R, Yonezawa T, Ishihara A, Deguchi A, Arai H, Shimose S, Shirono T, Nakano M, Okamura S, Noda Y, Kamachi N, Sakai M, Suzuki H, Aino H, Matsukuma N, Matsugaki S, Ogata K, Yano Y, Ueno T, Kajiwara M, Itano S, Fukuizumi K, Kawano H, Noguchi K, Tanaka M, Yamaguchi T, Kuromatsu R, Kawaguchi A, Koga H, [Torimura T](#). Survival Benefit of Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy over Sorafenib in the Treatment of Locally Progressed Hepatocellular Carcinoma. *Cancers*. 13: 4. 646, 2021.
  65. Iwamoto H, Shimose S, Noda Y, Shirono T, Niizeki T, Nakano M, Okamura S, Kamachi N, Suzuki H, Sakai M, Kajiwara A, Itano S, Tanaka M, Yamaguchi T, Kuromatsu R, Koga H, [Torimura T](#) and on behalf of The Kurume Liver Cancer Study Group of Japan . Initial Experience of Atezolizumab Plus Bevacizumab for Unresectable Hepatocellular Carcinoma in Real-World Clinical Practice. *Cancers*. 13: 11. 2786, 2021.
  66. Niizeki T, Iwamoto H, Shirono T, Shimose S, Nakano M, Okamura S, Noda Y, Kamachi N, Hiroyuki S, Sakai M, Kuromatsu R, Koga H and [Torimura T](#). Clinical Importance of Regimens in Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy for Advanced Hepatocellular Carcinoma with Macrovascular Invasion. *Cancers*. 13: 17 4450, 2021.
  67. Tsuchihashi J, Koya S, Hirota K, Koga N, Narao H, Tomita M, Kawaguchi T, Hashida R, Nakano D, Tsutsumi T, Yoshio S, Matsuse H, Sanada T, Notsumata K, [Torimura T](#). Effects of In-Hospital Exercise on Frailty in Patients with Hepatocellular Carcinoma. *Cancers* . 13: 2. 194, 2021.
  68. Zaizen Y, Nakano M, Fukumori K, Yano Y, Takaki K,

- Niizeki T, Kuwaki K, Fukahori M, Sakaue T, Yoshimura S, Nakazaki M, Kuromatsu R, Okamura S, Iwamoto H, Shimose S, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Koga H, [Torimura T](#). Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy with Cisplatin versus Sorafenib for Intrahepatic Advanced Hepatocellular Carcinoma: A Propensity Score-Matched Analysis. *Cancers* . 13: 21. 5282, 2021.
69. Toshihiro Tanaka, Hideki Iwamoto, Mitsuteru Fujihara, Hideyuki Nishiofuku, Tetsuya Masada, Hiroyuki Suzuki, Hironori Koga, Takuji Torimura, Kimihiko Kichikawa . Efficacy of a Glass Membrane Emulsification Device to Form Mixture of Cisplatin Powder with Lipiodol on Transarterial Therapy for Hepatocellular Carcinoma. *CardioVascular and Interventional Radiology*. 44: 5. 766-773, 2021.
70. Murayama K, Okada M, Tanaka K, Inadomi C, Yoshioka W, Kubotsu Y, Yada T, Isoda H, Kuwashiro T, Oeda S, Akiyama T, Oza N, Hyogo H, Ono M, Kawaguchi T, [Torimura T](#), Anzai K, Eguchi Y, Takahashi H. Prediction of Nonalcoholic Fatty Liver Disease Using Noninvasive and Non-Imaging Procedures in Japanese Health Checkup Examinees. *Diagnostics*. 11: 1. 132, 2021.
71. Nakano M, Kuromatsu R, Niizeki T, Okamura S, Iwamoto H, Shimose S, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Koga H, [Torimura T](#), Kurume Liver Cancer Study Group of Japan. Immunological inflammatory biomarkers as prognostic predictors for advanced hepatocellular carcinoma. *ESMO Open*. 6: 1. 100020, 2021.
72. Hashida R, Matsuse H, Kawaguchi T, Yoshio S, Bekki M, Iwanaga S, Sugimoto T, Hara K, Koya S, Hirota K, Nakano D, Tsutsumi T, Kanto T, [Torimura T](#), Shiba N. Effects of A Low-Intensity Resistance Exercise Program on Serum miR-630, miR-5703, and Fractalkine/CX3CL1 Expressions in Subjects with No Exercise Habits: A Preliminary Study. *Hepatology Research*. 51: 7. 823-833, 2021.
73. Rapposelli IG, Shimose S, Kumada T, Okamura S, Hiraoka A, Costanzo GGD, Marra F, Tamburini E, Forgione A, Foschi FG, Silletta M, Lonardi S, Masi G, Scartozzi M, Nakano M, Shibata H, Kawata K, Pellino A, Vivaldi C, Lai E, Takata A, Tajiri K, Toyoda H, Tortora R, Campani C, Viola MG, Piscaglia F, Conti F, Fulgenzi CAM, Frassinetti GL, Rizzato MD, Salani F, Astara G, [Torimura T](#), Atsukawa M, Tada T, Burgio V, Rimini M, Cascinu S, Casadei-Gardini A. Identification of lenvatinib prognostic index via recursive partitioning analysis in advanced hepatocellular carcinoma. *ESMO Open*. 6: 4 100190, 2021.
74. Tsutsumi T, Eslam M, Kawaguchi T, Yamamura S, Kawaguchi A, Nakano D, Koseki M, Yoshinaga S, Takahashi H, Anzai K, George J, [Torimura T](#). MAFLD Better Predicts the Progression of Atherosclerotic Cardiovascular Risk than NAFLD: Generalized Estimating Equation Approach. *Hepatology Research*. 51: 11. 1115-1128, 2021.
75. Kawaguchi T, Honda A, Sugiyama Y, Nakano D, Tsutsumi T, Tahara N, [Torimura T](#), Fukumoto Y. Association between the Albumin-Bilirubin (ALBI) Score and Severity of Portopulmonary Hypertension (PoPH): A Data-mining Analysis. *Hepatology Research*. 51: 12. 1207-1218, 2021.
76. Rimini M, Shimose S, Lonardi S, Tada T, Masi G, Iwamoto H, Lai E, Burgio V, Hiraoka A, Ishikawa T, Soldà C, Shirono T, Vivaldi C, Takaguchi K, Shimada N, Astara G, Koga H, Nouse K, Joko K, [Torimura T](#), Hiasa Y, Salani F, Scartozzi M, Cascinu S, Casadei-Gardini A. Lenvatinib versus Sorafenib as first-line treatment in hepatocellular carcinoma: a multi-institutional matched case-control study. *Hepatology Research*. 51: 12. 1229-1241, 2021.
77. Fukunaga S, Nakano D, Kawaguchi T, Eslam M, Ouchi A, Nagata T, Kuroki H, Kawata H, Abe H, Nouno R, Kawaguchi K, George J, Mitsuyama K, [Torimura T](#). Non-Obese MAFLD Is Associated with Colorectal Adenoma in Health Check Examinees: A Multicenter Retrospective Study. *International journal of molecular sciences*. 22: 11. 5462, 2021.
78. Iwamoto H, Itano S, Itano O, Ishii M, Niizeki T, Shirono T, Shimose S, Suzuki H, Kajiwara A, Yamaguchi T, Koga H, [Torimura T](#). Feasibility and safety of a novel indwelling catheter system via the femoral artery for intermittent transarterial therapy for treating malignant liver tumors. *Japanese Journal of Radiology*. inpress 2021.
79. Shirono T, Niizeki T, Iwamoto H, Shimose S, Suzuki H, Kawaguchi T, Kamachi N, Noda Y, Okamura S, Nakano M, Kuromatsu R, Koga H, [Torimura T](#). Therapeutic Outcomes and Prognostic Factors of Unresectable Intrahepatic Cholangiocarcinoma: A Data Mining Analysis. *Journal of Clinical Medicine*. 10: 5. 987, 2021.
80. Araki T, Mitsuyama K, Yamasaki H, Morita M, Tsuruta K, Mori A, Yoshimura T, Fukunaga S, Kuwaki K, Yoshioka S, Takedatsu H, Kakuma T, Akiba J, [Torimura T](#). Therapeutic Potential of a Self-Assembling Peptide Hydrogel to Treat Colonic Injuries Associated with Inflammatory Bowel Disease . *Journal of Crohn's and Colitis*. 15:9. 1517-1527, 2021.
81. Ogawa Y, Nakahara T, Ono M, Kawaguchi T, Isoda H, Hiramatsu A, Uchikawa S, Fujino H, Murakami E, Kawaoka T, Yamauchi M, Tsuge M, Munekage K, Ochi T, Hayes CN, Imamura M, Aikata H, Takahashi H, [Torimura T](#), Chayama K. Underestimation of impaired glucose tolerance and usefulness of a continuous glucose monitoring system in chronic liver disease.

- Journal of Gastroenterology and Hepatology. inpress2021.
82. Iwaki M, Kessoku T, Ozaki A, Kasai Y, Kobayashi T, Nogami A, Honda Y, Ogawa Y, Imajo K, Yoneda M, Maeda A, Tanaka Y, Nakajima S, Ohno H, Usuda H, Kawanaka M, Kawaguchi T, Torimura T, Kage M, Hyogo H, Takahashi H, Eguchi Y, Aishima S, Wada K, Kobayash N, Sumida Y, Saito S, Nakajima A. Gut microbiota composition associated with hepatic fibrosis in non-obese patients with non-alcoholic fatty liver disease. *Journal of Gastroenterology and Hepatology*. 36: 8. 2275-2284, 2021.
  83. Hashida R, Takano Y, Matsuse H, Kudo M, Bekki M, Omoto M, Nago T, Kawaguchi T, Torimura T, Shiba N.. Electrical Stimulation of the Antagonist Muscle during Cycling Exercise Interval Training Improves Oxygen Uptake and Muscle Strength.. *Journal of Strength and Conditioning Research*. 35: 1. 111–117, 2021.
  84. Hashida R, Dan Nakano, Sakura Yamamura, Takumi Kawaguchi, Tsubasa Tsutsumi, Hiroo Matsuse, Hirokazu Takahashi, ,Zobair M. Younossi and Takuji Torimura . Association between Activity and Brain-Derived Neurotrophic Factor in Patients with Non-Alcoholic Fatty Liver Disease: A Data-Mining Analysis. *Life (Basel)* . 11 : 8.799, 2021.
  85. Casadei-Gardini A, Scartozzi M, Tada T, Yoo C, Shimose S, Masi G, Lonardi S, Frassinetti GL, Nicola S, Piscaglia F, Kumada T, Hyung-Don K, Koga H, Vivaldi C, Soldà C, Hiraoka A, Bang Y, Atsukawa M, Torimura T, Tsuj K, Itobayashi E, Toyoda H, Fukunishi S, Rimassa L, Rimini M, Cascinu S, Cucchetti A. Lenvatinib versus Sorafenib in first-line treatment of unresectable hepatocellular carcinoma: an inverse probability of treatment weighting analysis. *Liver International*. 41: 6. 1389-1397, 2021.
  86. Rapposelli IG, Tada T, Shimose S, Burgio V, Kumada T, Iwamoto H, Hiraoka A, Niizeki T, Atsukawa M, Koga H, Hiraoka M, Torimura T, Iavarone M, Tortora R, Campani C, Lonardi S, Tamburini E, Piscaglia F, Masi G, Cabibbo G, Foschi FG, Silletta M, Tsuji K, Ishikawa T, Takaguchi K, Kariyama K, Itobayashi E, Tajiri K, Shimada N, Shibata H, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Fukunishi S, Ohama H, Kawata K, Tani J, Nakamura S, Nouse K, Tsutsui A, Nagano T, Tanaka T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Joko K, Koizumi Y, Hiasa Y, Rimini M, Ratti F, Aldrighetti L, Cascinu S, Casadei-Gardini A. Adverse events as potential predictive factors of activity in advanced hepatocellular carcinoma patients treated with lenvatinib. *Liver International*. 41: 12. 2997-3008, 2021.
  87. Yoshimura T, Mitsuyama K, Sakemi R, Takedatsu H, Yoshioka S, Kuwaki K, Mori A, Fukunaga S, Araki Y, Morita M, Tsuruta K, Yamasaki H, Torimura T. Evaluation of Serum Luecine-rich Alpha-2 Glycoprotein as a New Inflammatory Biomarker of Inflammatory Bowel Disease. *Mediators of Inflammation*. 8825374: 1-10, 2021.
  88. Takahashi A, Ohira H, Abe K, Zeniya M, Abe M, Arinaga-Hino T, Torimura T, Yoshizawa K, Takaki A, Kang JH, Suzuki Y, Nakamoto N, Inui A, Tanaka A, Takikawa H. Differences in autoimmune hepatitis based on inflammation localization. *Medical Molecular Morphology*. 54: 1. 8-13, 2021.
  89. Fukahori M, Miwa K, Murotani K, Naito Y, Ushijima T, Sakaue T, Tanaka T, Nagasu S, Suga H, Kakuma T, Okabe Y, Torimura T. A phase II study of gemcitabine plus nab-paclitaxel as first-line therapy for locally advanced pancreatic cancer. *Medicine*. 100:20. 26052, 2021.
  90. Fukahori M, Kato K, Taniguchi H, Ohtomo R, Takahashi N, Shoji H, Iwasa S, Honma Y, Takashima A, Hamaguchi T, Yamada Y, Shimada Y, Ito Y, Itami J, Hokamura N, Igaki H, Tachimori Y, Miwa K, Torimura T and Boku N. Relationship between cervical esophageal squamous cell carcinoma and human papilloma virus infection and gene mutations. *Molecular and Clinical Oncology*. 14 : 2. 41, 2021.
  91. Kamachi N, Shimose S, Hirota K, Koya S, Iwamoto H, Niizeki T, Shirono T, Nakano M, Hashida R, Kawaguchi T, Matusse H, Noguchi K, Koga H, Torimura T. Prevalence and profiles of ramucirumab-associated severe ascites in patients with hepatocellular carcinoma. *Molecular and Clinical Oncology*. 14: 4. 79, 2021.
  92. Toshihiro Kawaguchi, Tatsuya Ide, Keisuke Amano, Teruko Arinaga-Hino, Reiichiro Kuwahara, Tomoya Sano, Shirachi Miki, Naofumi Ono, Takuji Torimura. Enhanced liver fibrosis score as a predictive marker for hepatocellular carcinoma development after hepatitis C virus eradication. *Molecular and Clinical Oncology*. 15:4. 215, 2021.
  93. Shimose S, Iwamoto H, Tanaka M, Niizeki T, Shirono T, Kajiwara A, Noda Y, Kamachi N, Okamura S, Nakano M, Kuromatsu R, Kawaguchi T, Koga H, Torimura T. Multimolecular-Targeted Agents for Intermediate-Stage Hepatocellular Carcinoma Influence Time to Stage Progression and Overall Survival. *Oncology*. 99: 12. 756-765, 2021.
  94. Mori A, Mitsuyama K, Sakemi R, Yoshioka S, Fukunaga S, Kuwaki K, Yamauchi R, Araki T, Yoshimura T, Yamasaki H, Tsuruta K, Morita T, Yamasaki S, Tsuruta O, Torimura T. Evaluation of Serum Calprotectin Levels in Patients with Inflammatory Bowel Disease. *The Kurume Medical Journal*. 66: 4. 209-215, 2021.
  95. Yamamura S, Kawaguchi T, Nakano D, Tomiyasu Y, Yoshinaga S, Doi Y, Takahashi H, Anzai K, Eguchi Y, Torimura T. Prevalence and Independent Factors for Fatty Liver and Significant Hepatic Fibrosis Using B-Mode Ultrasound Imaging and Two

- Dimensional-Shear Wave Elastography in Health Check-up Examinees. The Kurume Medical Journal. 66: 4. 225-237, 2021.
96. Suzuki H, Iwamoto H, Nakano M, Nakamura T, Masuda A, Sakaue T, Tanaka T, Nakano D, Kuromatsu R, Niizeki T, Okamura S, Shimose S, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Yano H, Kawaguchi A, Koga H, Torimura T. Efficacy and tolerability of Sorafenib plus metronomic chemotherapy S-1 for advanced hepatocellular carcinoma in preclinical and clinical assessments. Translational Oncology. 14 : 11.101201, 2021.
  97. Torimura T, Iwamoto H. Optimizing the management of intermediate-stage hepatocellular carcinoma: Current trends and prospects. Clinical and Molecular Hepatology. 27: 2. 236-245, 2021
  98. 川口 巧、鳥村拓司. 第 2 章 栄養療法の基礎 II. 栄養評価 E. 窒素代謝および窒素平衡. 日本臨床栄養代謝学会 JSPEN テキストブック . p. 164-168, 2021.
  99. 鳥村拓司. 腸内細菌と肝細胞癌. 専門医のための消化器病学. p. 444-446, 2021.
  100. 川口 巧、鳥村拓司. 代謝異常と中等度飲酒が脂肪肝患者の肝線維化におよぼす影響. アルコールと医学生物学 Vol. 40. 40: 45-46, 2021.
- 2 学会発表
1. 川口 巧、中野 暖、居石哲治、鳥村拓司... イソマルツロースが NAFLD 患者のインスリン抵抗性と代謝におよぼす影響：メタボローム解析. 第 22 回日本病態栄養学会年次学術集会. 横浜市. 2019/1/11
  2. 池田真由美、高柳理沙、永松あゆ、丸山奈津実、川口 巧、居石哲治、田尻祐司、野村政壽、鳥村拓司、多賀百香、田中芳明... 非 B 非 C 肝がん患者の食習慣の特徴. 第 22 回日本病態栄養学会年次学術集会. 横浜市. 2019/1/11
  3. 河野 隆、豊増 靖、河野克俊、林 大樹、吉武めぐみ、大野智和、紫原美和子、坂田研二、野口和典、鳥村拓司... 上腸間膜動脈解離に対して保存的治療を行なった 1 例. 第 324 回日本内科学会九州地方会. 福岡市. 2019/1/12
  4. 岩本英希、下瀬茂男、新関 敬、中野聖士、城野智毅、山口泰三、田中正俊、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝細胞癌に対するレンパチニブ投与における副作用の多施設後ろ向き研究. 第 19 回日本肝がん分子標的治療研究会. 東京. 2019/1/26
  5. 吉尾智一、安元真希子、岡部義信、桑野 徹、石田祐介、牛島知之、深堀 理、阪上尊彦、島松 裕、荒木俊博、鶴田 修、鳥村拓司... 内視鏡的経胃ドレナージで軽快した胃穿孔併発の多発腓仮性嚢胞の 1 例. 第 11 回福岡県医学会総会. 福岡市. 2019/2/3
  6. 森 敦、吉岡慎一郎、荒木俊博、森田 俊、吉村哲広、山内亨介、桑木光太郎、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司. パネルディスカッション. 炎症性腸疾患に対するカプセル内視鏡の意義と今後の展望. 当院でのクローン病小腸病変診断における小腸カプセル内視鏡検査の実際. 第 12 回日本カプセル内視鏡学会学術集会. 佐賀市. 2019/2/3
  7. 杉本昌子、林 咲希、神谷俊次、広田佳介、川口巧、橋田竜騎、松瀬博夫、居石哲治、志波直人、鳥村拓司、後藤恵美子、林ゆかり... 肝がん患者におけるサルコペニアと転倒転落の実態. 第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会. 東京. 2019/2/14
  8. 川口 巧、中野 暖、岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司... SGLT2 阻害剤が NASH 関連肝癌マウスモデルの腫瘍増殖と代謝におよぼす影響. 第 15 回酸化ストレスと肝研究会-プログラム (二次会) -. 福岡市. 2019/2/16
  9. 阪上尊彦、岡部義信、牛島知之、安元真希子、島松 裕、谷川雅彦、内藤嘉紀、安永昌史、奥田康司、中島 収、鳥村拓司... 術前診断に苦慮した腓神経内分泌腫瘍の 1 切除例. 第 70 回日本消化器画像診断研究会. 東京. 2019/2/23
  10. Kawaguchi T, Arinaga-Hino T, Shimizu M, Tanikawa K, Tokushige T, Hirai S, Tateishi H, Ide T, Torimura T. ... A Case of Immune-Mediated Drug-Induced Liver Injury Caused by Neuraminidase Inhibitor. APASL Single Topic Conference on Liver Immunology and Genetics. Tokyo, Japan. 2019/4/18
  11. 酒井味和、黒松亮子、安元真希子、岡部義信、中野聖士、岡村修祐、野田 悠、蒲池直紀、草野弘宣、中島 収、鳥村拓司... 造影超音波検査で胆管内乳頭状腫瘍 (IPNB) が疑われた 2 例. 第 32 回日本腹部造影エコー・ドブラ診断研究会. 東京. 2019/4/20
  12. 上野恵里奈、河野弘志、小林起秋、山田康正、渡邊裕次郎、柴田 翔、深水 航、後藤諒介、菅原脩平、秋山哲司、鳥村拓司、鶴田 修... 当院で経験した胃腺癌および近位胃ポリポース

- GAPPS の 1 症例. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
13. 牛島知之、岡部義信、石田祐介、阪上尊彦、深堀理、安元真希子、石川博人、川原隆一、安永昌史、内藤嘉紀、奥田康司、鶴田 修、鳥村拓司... 術前診断が困難であった IgG4 関連胆膵疾患 5 切除例の検討. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
  14. 柴田 翔、菅原脩平、後藤諒介、深水 航、山田康生、渡邊裕次郎、小林起秋、上野恵里奈、河野弘志、秋山哲司、鶴田 修、鳥村拓司... 当院における S 状結腸腸管軸捻転症に対する内視鏡的治療成績について. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
  15. 久永 宏、江森啓悟、國武泰史、井上博人、於保和彦、豊永 純、井出達也、鶴田 修、鳥村拓司... C 型肝炎直接作用型抗ウイルス薬が食道胃静脈瘤に及ぼす変化についての検討. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
  16. 中野 暖、川口 巧、鳥村拓司、岩本英希、古賀浩徳... SGLT2 阻害剤が NASH 関連肝癌マウスモデルの腫瘍増殖と代謝におよぼす影響. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
  17. 川口 巧、橋田竜騎、鳥村拓司. シンポジウム(3). 消化器疾患におけるサルコペニア. がんのリハビリテーションが進行肝癌患者のサルコペニアにおよぼす影響. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
  18. 中野聖士、古賀浩徳、鳥村拓司. シンポジウム(9). 進行肝癌に対する新たな治療戦略. 進行肝細胞癌に対するレンパチニブ治療における効果予測因子としての手足皮膚反応. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
  19. 井出達也、天野恵介、鳥村拓司. パネルディスカッション(9). 肝炎ウイルス感染者の効果的な診療体制の確立. 当県における肝疾患専門医療機関での院内肝炎ウイルス陽性患者の拾い上げに関する検討. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
  20. 増田篤高、中村 徹、鳥村拓司. ワークショップ(12). 肝線維化研究の展開と臨床応用. 肝硬変モデルマウスにおける galunisertib 投与による抗線維化作用とその臨床応用の可能性. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
  21. 吉岡慎一郎、光山慶一、鳥村拓司. ワークショップ(3). 消化器疾患のバイオマーカー研究. 炎症性腸疾患診断における新規血清バイオマーカーの有用性: 多施設共同研究. 第 105 回日本消化器病学会総会. 金沢市. 2019/5/9
  22. 宮崎 健、原 洋平、吉武めぐみ、林 大樹、豊増 靖、河野克俊、森田 拓、坂田研二、野口和典、鳥村拓司... ステロイドが著効し保存的に治療しえた腸間膜脂肪織炎の 1 例. 第 325 回日本内科学会九州地方会. 長崎市. 2019/5/18
  23. 中村 徹、古賀浩徳、増田篤高、岩本英希、安倍満彦、鈴木浩之、鳥村拓司... 肝線維症モデルマウスに対するヒト iPS 細胞由来肝細胞様細胞及び血管内皮細胞を用いた新たな治療法の開発. 第 26 回肝細胞研究会. 横浜市. 2019/5/23
  24. 板野晋也、大園太貴、向坂健秀、伏見 崇、佐々木優、前川隆一郎、鳥村拓司... 多数の薬剤アレルギーを発症した肝細胞癌に対して集学的治療を行った 1 例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
  25. 榊原重成、平塚裕也、武田和太、今村健太郎、寺部寛哉、酒見亮介、宗 祐人、森光洋介、鳥村拓司... Cronkhite-Canada 症候群の 1 例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
  26. 牛嶋珠里、増田 裕、高木浩史、佐々木望、松隈則人、村上直孝、鳥村拓司... 進行胃癌を伴った Bannayan-Riley-Ruvalcaba 症候群の一例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
  27. 吉武めぐみ、河野 隆、宮崎 健、原 洋平、林大樹、豊増 靖、森田 拓、河野克俊、坂田研二、野口和典、島松一秀、鳥村拓司... 消化器症状から発症し川崎病と診断した一例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
  28. 南 真平、田中寛士、相野 一、白地美紀、梶原雅彦、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司... 腸重積症を契機に診断された小腸神経鞘腫の症例. 第

- 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
29. 吉村哲広、吉岡慎一郎、森田 俊、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、鶴田 修、光山慶一、鳥村拓司... スニチニブによる薬剤性大腸炎と診断した一例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
30. 福永秀平、吉岡慎一郎、草場喜雄、森田 俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、永田 務、徳安秀紀、大内彬弘、向笠道太、秋葉 純、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司... 青黛服用中に発見され内視鏡的粘膜剥離術を行った潰瘍性大腸癌関連腫瘍の一例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
31. 永田 務、鶴田 修、草場喜雄、中根智幸、大内彬弘、福永秀平、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司... 診断に苦慮した盲腸部粘膜下腫瘍の 1 例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
32. 古森元崇、新関 敬、岩本英希、下瀬茂男、城野智毅、古賀浩徳、鳥村拓司... Regorafenib 投与で間質性肺炎を生じた進行肝細胞癌の一例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
33. 木村誠二、下瀬茂男、新関 敬、岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司... 門脈腫瘍栓を伴う肉腫様成分を伴う肝腫瘍に対して肝動注化学療法 (New-FP) と重粒子線療法により CR となった一例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
34. 古嶋 慧、城野智毅、新関 敬、野田 悠、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝動注リザーバー留意に伴う感染性仮性動脈瘤に対し感染コントロール後に外科手術で対処した一例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
35. 井上誠一、菅原脩平、山田康生、後藤諒介、深水航、柴田 翔、渡邊裕次郎、小林起秋、上野恵里菜、河野弘志、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司... A 型インフルエンザ感染症に対するパロキサビルマルボキシル内服後に発症した急性虚血性大腸炎の 1 例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
36. 石井海人、安元真希子、岡部義信、平川雄介、三原勇太郎、内藤嘉紀、渡邊優征、牛島知之、深堀理、阪上尊彦、島松 裕、奥田康司、鶴田 修、鳥村拓司... CA19-9 高値を呈した胆嚢 Invasive adenocarcinoma associated with intracystic papillary neoplasm (ICPN) の 1 切除例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
37. 桑野 徹、井上博人、久永 宏、國武泰史、江森啓悟、宮島一郎、鳥村拓司... 直腸静脈瘤に対して EVL 併用 EIS 治療が有効であった 1 例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
38. 野見山美香、財前友貴、福森一太、矢野洋一、鳥村拓司... 腹痛を契機に診断された上腸間膜動脈解離の一例. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
39. 新関 敬、下瀬茂男、鳥村拓司. シンポジウム(2). 肝腫瘍のトータルマネジメント. Up to 7 基準外の進行肝細胞癌の亜分類についての考察. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
40. 吉岡慎一郎、吉村哲広、桑木光太郎、森田 俊、森 敦、福永秀平、山内亨介、水落建輝、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司. ワークショップ(3). IBD 診療における新たな展開. 若年 IBD 診療における便中カルプロテクチン測定の意義—成人 IBD との比較—. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市. 2019/5/24
41. 牛島知之、岡部義信、石田祐介、安元真希子、深堀理、阪上尊彦、鶴田 修、鳥村拓司. ワーク

- シヨップ(4). 胆膵内視鏡・腹腔鏡低侵襲治療および合併症. 当院で経験した  
Pancreatic/peripancreatic fluid collection に対する EUS 下瘻孔形  
成術の偶発症の検討と予防策. 第 113 回日本消化器病学会九州支部例会 第 107 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 福岡市.  
2019/5/24
42. 中野 暖、川口 巧、早川政子、岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司... SGLT2 阻害剤が NASH 関連肝癌マウスモデルの腫瘍増殖と代謝におよぼす影響. 第 6 回肝臓と糖尿病・代謝研究会. 仙台市.  
2019/5/25
43. 川口 巧、中野 暖、鳥村拓司. シンポジウム(2). 糖尿病と肝がん update. 糖尿病治療薬が肝がんにおよぼす影響. 第 6 回肝臓と糖尿病・代謝研究会. 仙台市. 2019/5/25
44. 岩本英希、新関 敬、永松洋明、下瀬茂男、城野智毅、山口泰三、古賀浩徳、鳥村拓司... 高度脈管侵襲を有する Stage IVa 進行肝細胞癌に対する肝動注化学療法 New FP 療法の治療成績の多施設後ろ向き研究. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京.  
2019/5/30
45. 川口俊弘、井出達也、有永照子、桑原礼一郎、天野恵介、佐野有哉、白地美紀、鳥村拓司... C 型慢性肝疾患における線維化マーカーの DAA 治療前後の推移と肝発癌に関する検討. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京. 2019/5/30
46. 野田 悠、川口 巧、是永匡紹、由雄祥代、中野聖士、新関 敬、古賀浩徳、考藤達哉、鳥村拓司... 非ウイルス性肝細胞癌患者の予後における IL-34 および KL-40 の意義. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京. 2019/5/30
47. 山村咲良、川口 巧、中野 暖、高橋宏和、江口有一郎、安西慶三、鳥村拓司... Shear wave elastography を用いた健診受診者の肝硬度に関わるデータマイニング解析. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京. 2019/5/30
48. 鈴木浩之、岩本英希、新関 敬、下瀬茂男、城野智毅、山口泰三、古賀浩徳、鳥村拓司... Stage IVa 巨大肝細胞癌に対し血管内治療・分子標的治療を中心とした集学的治療で長期生存が得られている症例—分子標的治療前後での血清蛋白発現の評価—. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京.  
2019/5/30
49. 下瀬茂男、新関 敬、鳥村拓司. シンポジウム(3). 進行肝癌の治療：分子標的薬の位置づけ. BCLC stage B 肝細胞癌における肝動脈化学塞栓術と分子標的薬の位置づけ. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京. 2019/5/30
50. 川口 巧、秋葉 純、鳥村拓司. シンポジウム(5). NASH/NAFLD：概念と診断基準の整理. NAFLD における非侵襲的肝線維化マーカー PRO-C3 の有用性. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京. 2019/5/30
51. 有永照子、秋葉 純、鳥村拓司. パネルディスカッション(10). 自己免疫性肝疾患：病態解明と治療法の進歩 . 急性肝炎期自己免疫性肝炎とウイルス性急性肝炎の臨床および病理組織学的な比較検討—Ki67 の病理組織学的マーカーとしての役割—. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京.  
2019/5/30
52. 中野聖士、新関 敬、鳥村拓司. パネルディスカッション(5). 肝癌診療ガイドライン 2017 を再検証する Re-evaluation of the JSH HCC Guidelines 2017. 脈管侵襲陽性肝細胞癌に対する有効な治療（肝動注化学療法と分子標的治療の比較）. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京. 2019/5/30
53. 城野智毅、新関 敬、鳥村拓司. パネルディスカッション(9). 肝細胞癌以外の肝悪性新生物：その実態と治療の展望. 当科における切除不能肝内胆管癌の治療成績と予後因子の探索的検討. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京. 2019/5/30
54. 井出達也、天野恵介、鳥村拓司. メディカルスタッフセッション(2). 肝疾患の医療行政：各都道府県での実態と課題. 福岡県における肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率の検討. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京. 2019/5/30
55. 橋田竜騎、川口 巧、鳥村拓司. ワークシヨップ(2). DAA 治療不成功例：ウイルス側と宿主側要因の解析 HCV failures to prior direct-acting antiviral regimens：Analsis of viral- and host-related factors. がんりハビリテーションがサルコペニア合併進行肝がん患者の予後におよぼす影響. 第 55 回日本肝臓学会総会. 東京.  
2019/5/30
56. 阪上尊彦、岡部義信、倉岡 圭、石田祐介、牛島知之、安元真希子、寺部寛哉、島松 裕、鶴田 修、鳥村拓司... 当院における胆管空腸吻合術後症例

- に対する内視鏡的アプローチの有用性と問題点. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会. 東京. 2019/5/31
57. 牛島知之、岡部義信、石田祐介、島松 裕、阪上尊彦、深堀 理、安元真希子、鶴田 修、鳥村拓司... 当院における悪性胃十二指腸狭窄に対する内視鏡的ステント留置術の検討. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会. 東京. 2019/5/31
58. Ishida Y, Okabe Y, Tsuruta O, Ushijima T, Yasumoto M, Sakaue T, Torimura T. ワークショップ(6). Current situation and new developments in interventional EUS. Evaluation of endoscopic additional treatment after EUS-guided drainage for peripancreatic fluid collection. 第 97 回日本消化器内視鏡学会総会. 東京. 2019/5/31
59. 岩本英希、下瀬茂男、新関 敬、中野聖士、城野智毅、岡村修祐、野田 悠、蒲池直紀、黒松亮子、山口泰三、田中正俊、古賀浩徳、鳥村拓司... 切除不能進行肝細胞癌に対するレンパチニブ5投2休投与法の試み. 第 20 回日本肝がん分子標的治療研究会. 長崎市. 2019/6/29
60. 田中正俊、下瀬茂男、鳥村拓司... TACE 不応、放射線治療不応の再発肝細胞癌 (Vp2) に対しレンパチニブと追加 TACE の併用治療で著効が得られた症例. 第 20 回日本肝がん分子標的治療研究会. 長崎市. 2019/6/29
61. 中野聖士、黒松亮子、新関 敬、岡村修祐、岩本英希、下瀬茂男、城野智毅、野田 悠、蒲池直紀、古賀浩徳、鳥村拓司... 進行肝細胞癌に対するレンパチニブの治療成績 (ソラフェニブとの比較). 第 20 回日本肝がん分子標的治療研究会. 長崎市. 2019/6/29
62. 中野聖士、黒松亮子、新関 敬、岡村修祐、岩本英希、下瀬茂男、城野智毅、野田 悠、蒲池直紀、古賀浩徳、鳥村拓司... 進行肝細胞癌に対するレンパチニブ治療の初期経験ならびにソラフェニブ治療との比較. 第 55 回日本肝癌研究会. 東京. 2019/7/4
63. 岡村修祐、下瀬茂男、新関 敬、蒲池直紀、野田悠、城野智毅、岩本英希、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 進行肝細胞癌に対するレンパチニブ投与後の造影 CT における肝内病変の変化. 第 55 回日本肝癌研究会. 東京. 2019/7/4
64. 蒲池直紀、中野聖士、岡村修祐、野田 悠、新関敬、岩本英希、下瀬茂男、城野智毅、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝表面の肝細胞癌に対するバイポーラ RFA (Celon POWER) の治療成績. 第 55 回日本肝癌研究会. 東京. 2019/7/4
65. 新関 敬、下瀬茂男、鳥村拓司、岩本英希、城野智毅、中野聖士、岡村修祐、野田 悠、蒲池直紀、黒松亮子、古賀浩徳. パネルディスカッション(2). 進行肝癌の集学的治療. Up to 7 基準外、肝外病変無し、肝機能良好の進行肝細胞癌に対する New FP 療法. 第 55 回日本肝癌研究会. 東京. 2019/7/4
66. 下瀬茂男、新関 敬、鳥村拓司. パネルディスカッション(6). 再発肝癌の治療選択. BCLC B 肝細胞癌 (HCC) への分子標的薬 (MTA) の介入の意義及び薬剤選択の検討. 第 55 回日本肝癌研究会. 東京. 2019/7/4
67. 岩本英希、新関 敬、鳥村拓司. パネルディスカッション(7). 放射線治療の適応. 脈管浸潤を伴う進行肝細胞癌に対する放射線治療の有効性についての検討. 第 55 回日本肝癌研究会. 東京. 2019/7/4
68. 城野智毅、新関 敬、岩本英希、下瀬茂男、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、古賀浩徳、鳥村拓司. パネルディスカッション(8). TACE での抗癌剤. Balloon-Occluded Transarterial Chemoembolization (B-TACE) における抗癌剤別の治療成績. 第 55 回日本肝癌研究会. 東京. 2019/7/4
69. 鈴木浩之、城野智毅、下瀬茂男、岩本英希、新関敬、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、川口 巧、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司. ワークショップ(7). 肝内胆管癌の診断と治療. 当科における切除不能肝内胆管癌の治療効果予測因子について. 第 55 回日本肝癌研究会. 東京. 2019/7/4
70. 増田篤高、中村 徹、古賀浩徳、安倍満彦、岩本英希、阪上尊彦、田中俊光、鈴木浩之、鳥村拓司... 肝硬変モデルマウスにおける TGF $\beta$  阻害剤 galunisertib の抗線維化作用と肝再生促進作用. 第 15 回広島肝臓プロジェクト研究センターシンポジウム. 広島市. 2019/7/6
71. 牛島知之、岡部義信、石田祐介、安元真希子、深堀 理、阪上尊彦、鶴田 修、鳥村拓司. ミニパネルディスカッション I. 自己免疫性膵炎診療

- の進歩. 自己免疫性膵炎に対するステロイド治療の長期予後の検討. 第 50 回日本膵臓学会大会. 東京. 2019/7/12
72. 桑原礼一郎、天野恵介、佐野有哉、川口俊弘、有永照子、井出達也、鳥村拓司... 肝臓内科医の外科肝移植チームでの診療体験「内科医の精神的ハードルを下げ、外科医の負担を軽減するために」. 第 37 回日本肝移植学会. 京都市. 2019/7/25
73. 桑原礼一郎、川口俊弘、佐野有哉、天野恵介、有永照子、井出達也、鳥村拓司... 移植後 C 型肝炎に対するソホスビル・レジパスビル療法失敗後にグレカプレビル・ピブレンタスビル療法で SVR を達成した 2 例の検討. 第 37 回日本肝移植学会. 京都市. 2019/7/25
74. 國武泰史、江森啓悟、久永 宏、井上博人、於保和彦、豊永 純、鳥村拓司... 膵癌の脾静脈浸潤による胃穹隆部静脈瘤破裂に対し PSE を施行した一例. 第 26 回日本門脈圧亢進症学会総会. 下関市. 2019/9/12
75. 永田 務、鶴田 修、荒木俊博、長 知徳、草場喜雄、中根智幸、大内彬弘、福永秀平、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司... 回腸末端腫瘍に対して ESD を施行した 1 例. 第 16 回拡大内視鏡研究会. 東京. 2019/9/14
76. 増田篤高、中村 徹、安倍満彦、岩本英希、阪上尊彦、田中俊光、鈴木浩之、古賀浩徳、鳥村拓司... ALK5 阻害剤 galunisertib の肝硬変症治療薬としての可能性. 第 51 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. 久留米市. 2019/9/20
77. 山内亨介、光山慶一、鳥村拓司... 新規蛍光プローブ散布による潰瘍性大腸炎関連腫瘍の内視鏡診断の可能性. 第 51 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. 久留米市. 2019/9/20
78. 鈴木浩之、岩本英希、中村 徹、増田篤高、阪上尊彦、田中俊光、中野 暖、今村恭子、早川政子、古賀浩徳、鳥村拓司... HCC に対する TKI 治療が腫瘍免疫微小環境に与える影響の検討. 第 51 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. 久留米市. 2019/9/20
79. 中村 徹、古賀浩徳、増田篤高、岩本英希、阪上尊彦、田中俊光、鈴木浩之、鳥村拓司. ワークショップ (1). 再生医学・医療. iPS 細胞由来肝細胞様細胞及び血管内皮細胞を用いた肝線維症モデルマウスに対する新たな肝再生療法の開発. 第 51 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. 久留米市. 2019/9/20
80. 中野 暖、川口 巧、岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司. ワークショップ (3). 肝癌の基礎的研究. SGLT2 阻害剤が肝細胞癌の増殖と代謝に及ぼす影響. 第 51 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. 久留米市. 2019/9/20
81. 岩本英希、安倍満彦、鈴木浩之、中村 徹、阪上尊彦、増田篤高、田中俊光、中野 暖、今村恭子、早川政子、古賀浩徳、鳥村拓司. ワークショップ (3). 肝癌の基礎的研究. エネルギー代謝の観点から見た癌細胞の血管新生阻害剤耐性メカニズムの解明. 第 51 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. 久留米市. 2019/9/20
82. Koga H, Iwamoto H, Sakaue T, Torimura T. . . Two-faced effects of Claudin-2 on Wnt signaling in liver cancer cells. 第 78 回日本癌学会学術総会. 京都市. 2019/9/26
83. Nakamura T, Koga H, Masuda, A Iwamoto H, Suzuki H, Sakaue T, Tanaka T, Torimura T. . . Transplantation of Human iPS Cell-Derived Hepatocyte-Like Cells and Endothelial Cells with Peptide Hydrogel Reduces Liver Fibrosis Induced by CCl4 in Mice. JSH International Liver Conference 2019. Osaka, Japan. 2019/10/1
84. Masuda A, Nakamura T, Iwamoto H, Sakaue T, Tanaka T, Suzuki H, Koga H, Torimura T. . . Promotion of Liver Regeneration/Anti-fibrotic Effects of ALK5 inhibitor galunisertib in CCl4-Treated Mice and the Possibility for Clinical Application. JSH International Liver Conference 2019. Osaka, Japan. 2019/10/1
85. Kawaguchi T, Yamamura S, Nakano D, Takahashi H, Eguchi Y, Anzai K, Torimura T. . . The Prevalence of Advanced Hepatic Fibrosis Evaluated by Shear Wave Elastography in Health Check-up Examinees. JSH International Liver Conference 2019. Osaka, Japan. 2019/10/1
86. 牛島知之、岡部義信、石田祐介、島松 裕、阪上尊彦、深堀 理、安元真希子、鶴田 修、鳥村拓司... 経乳頭的に留置した self-expandable metallic stent (SEMS) により胆管十二指腸瘻を来した膵頭部癌の 1 例. 第 55 回日本胆道学会学術集会. 名古屋市. 2019/10/3
87. 阪上尊彦、岡部義信、倉岡 圭、牛島知之、石田祐介、安元真希子、寺部寛哉、島松 裕、鳥村拓司... 胆管空腸吻合術後例に対する ERCP 関連手

- 技の検討. 第 55 回日本胆道学会学術集会. 名古屋市. 2019/10/3
88. 島松 裕、牛島知之、岡部義信、安元真希子、酒井久宗、石田祐介、谷川雅彦、内藤嘉紀、坂上尊彦、荒木俊博、奥田康二、鳥村拓司... 肝外胆管神経内分泌癌の一切除例. 第 55 回日本胆道学会学術集会. 名古屋市. 2019/10/3
  89. 岡村修祐、黒松亮子、酒井味和、蒲池直紀、野田 悠、中野聖士、中島 収、鳥村拓司... 神経内分泌癌肝転移症例の造影超音波所見についての検討. 日本超音波医学会（第 29 回九州地方会学術集会）. 北九州市. 2019/10/6
  90. 黒松亮子、蒲池直紀、岡村修祐、野田 悠、中野聖士、下瀬茂男、新関 敬、城野智毅、岩本英希、鳥村拓司 ... 肝細胞癌におけるレンパチニブ投与前後の B mode 画像の変化. 日本超音波医学会（第 29 回九州地方会学術集会）. 北九州市. 2019/10/6
  91. Iwamoto H, Shirono T, Niizeki T, Shimose S, Koga H, Torimura T . . Clinical Usefulness of Balloon-occluded Transcatheter Arterial Chemoembolization in Treatment of Hepatocellular Carcinoma. The 13th Annual Meeting of Society of Gastrointestinal Intervention. Incheon, Korea. 2019/10/11
  92. Shindo Y, Mitsuyama K, Yamasaki H, Imai T, Kaida Y, Shibata R, Yoshioka S, Torimura T. Symposium(4). Apheresis therapy for inflammatory bowel disease -Past, Present, Future-2. Safety and efficacy of single needle leucocyte apheresis for ulcerative colitis: A retrospective analysis. The 12th World Congress of International Society for Apheresis & The 40 th Annual Meeting of Japanese Society for Apheresis2019 (ISFA & JSFA 2019) . Kyoto, Japan. 2019/10/17
  93. Yoshioka S, Mitsuyama K, Hirai F, Esaki M, Araki T, Morita M, Yoshimura T, Mori A, Yamauchi R, Kuwaki K, Torimura T . . Usefulness of ACP 353 (anti-Crohn’s disease peptide 353) as a new biomarker in the diagnosis of inflammatory bowel disease: A multicenter study. 27th United European Gastroenterology Week (UEGW 2019). Barcelona, Spain. 2019/10/19
  94. Yamauchi R, Mitsuyama K, Yamasaki H, Araki T, Morita M, Yoshimura T, Mori A, Yoshioka S, Torimura T . . Expression Profiling of Transient Receptor Potential Channels in Peripheral Blood from Inflammatory Bowel Disease Patients. 27th United European Gastroenterology Week (UEGW 2019). Barcelona, Spain. 2019/10/19
  95. Araki T, Yamauchi R, Yamasaki H, Morita M, Yoshimura T, Mori A, Fukunaga S, Kuwaki K, Yoshioka S, Mitsuyama K, Torimura T . . Self-assembling peptide hydrogel enhances intestinal barrier function in topical TNBS model in rats. 27th United European Gastroenterology Week (UEGW 2019). Barcelona, Spain. 2019/10/19
  96. Ide T, Eguchi Y, Harada M, Arinaga-Hino T, Kuwahara R, Kawaguchi T, Amano K, Isoda H, Honma Y and Torimura T . . Elderly Hepatitis C patients Who Achieved Sustained Virological Response by Direct Acting Antivirals do not Have Significant Benefits for Hepaticellular Carcinoma Compared with The Patients Who did not Achieved Sustained Virological Response. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)). Boston, USA. 2019/11/8
  97. Ide T, Eguchi Y, Harada M, Arinaga-Hino T, Kuwahara R, Amano K, Kawaguchi T, Sano T, Isoda H, Honma Y and Torimura T . . A-fetoprotein as a Predictive Factor for Albumin Improvement in Patients with Hepatitis C Treated with Direct Antiviral Agents. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
  98. Iwamoto H, Suzuki H, Masuda A, Nakamura T, Koga H and Torimura T . . Exploration of The Specific microRNA in Tumor Endothelial Cell of Hepatocellular Carcinoma. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
  99. Suzuki H, Iwamoto H, Tanaka T, Sakaue T, Masuda A, Nakamura T, Koga H and Torimura T . . Lenvatinib Alters Tumor Immune Microenvironment from ‘COLD’ TO ‘HOT’ in Hepatocellular Carcinoma. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
  100. Koga H, Imamura Y, Nakamura T, Iwamoto H, Sakaue T, Masuda A, Tanaka T, Nakano D, Suzuki H, Yano H and Torimura T . . Involvement of WNT Signaling in Two-faced Actions of Claudin-2 in Liver Cancer Cells. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
  101. Nakano D, Kawaguchi T, Iwamoto H, Koga H and Torimura T . . SGLT2 Inhibitor Altered Metabolic Reprograming and Suppressed Proliferation of Hepatocellular Carcinoma: A Metabolomic and Proteomic Analysis. The Liver Meeting Digital

- Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
102. Shimose S, Kawaguchi T, Iwamoto H, Niizeki T, Shirono T, Tanaka M, Koga H and Torimura T . . . Prognostic Indication of Transarterial Chemoembolization and Multikinase Inhibitors in Patients with Intermediate Stage Hepatocellular Carcinoma. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
103. Niizeki T, Iwamoto H, Shirono T, Shimose S, Kawaguchi T, Koga H and Torimura T . . . A decision-tree Analysis of Prognostic Factors in Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy of Cisplatin Suspension in Lipiodol Combined with 5-Fluorouracil for Advanced Hepatocellular Carcinoma Exceeding up-to-7 Criteria. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
104. Kawaguchi T, Yoshio S, Sakamoto Y, Hashida R, Koya S, Hirota K, Niizeki T, Matsuse H, Shiba N and Torimura T . . . Decorin, An Exercise-induced Myokine, was Associated with Physical Function and Prognosis of Patients with Hepatocellular Carcinoma Independent from The BCLC Classification. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
105. Shimose S, Kawaguchi T, Iwamoto H, Nakano M, Niizeki T, Shirono T, Tanaka M, Koga H and Torimura T . . . Lenvatinib Improves Progression Free Survival in Patients with Intermediate Stage Hepatocellular Carcinoma After Transcatheter Arterial Chemoembolization. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
106. Nakano M, Kuromatsu R, Niizeki T, Okamura S, Iwamoto H, Shimose S, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Koga H and Torimura T . . . Real World Evidence of Lenvatinib in Advanced Hepatocellular Carcinoma: A Multicenter Cohort Study. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
107. Kawaguchi T, Hirota K, Koya S, Hashida R, Nakano D, Shirono T, Shimose S, Iwamoto H, Niizeki T, Matsuse H, Shiba N and Torimura T . . . The Liver Frailty Index was Related to Hypoalbuminemia with Hyperglycemia, but not Muscle Mass, in Cirrhotic Patients with Hepatocellular Carcinoma: A Data-mining Analysis. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
108. Nakamura T, Koga H, Masuda A, Iwamoto H, Suzuki H, Sakaue T, Tanaka T and Torimura T . . . CD34-positive Cell Transplantation Improves Liver Fibrosis in A Mouse Model of Non-Alcoholic Steatohepatitis. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
109. Iwamoto H, Niizeki T, Nagamatsu H, Nakano M, Hiraoka A, Shimose S, Shirono T, Suzuki H, Koga H, Torimura T and Tanaka M. . . Comparison of The Therapeutic Effects Between Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy “New FP” and Sorafenib for Advanced Hepatocellular Carcinoma with Major Macrovascular Invasion-multicenter Retrospective Analysis-. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
110. Shirono T, Iwamoto H, Niizeki T, Shimose S, Koga H and Torimura T . . . A Comparative Study of Necrosis-inducing Effect on Hepatocellular Carcinoma: Balloon-Occluded VS. Conventional Transcatheter Arterial Chemoembolization. The Liver Meeting Digital Experience 2019 (The 70th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . Boston, USA. 2019/11/8
111. 福森一太、野見山美香、財前有貴、中野 良、壇上晶子、矢野洋一、鳥村拓司... 既感染 Epstein-Barr ウイルス (EBV) 再活性化の関与が考えられた蛋白漏出性胃腸症の一例. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
112. 永田 務、鶴田 修、荒木俊博、長 知徳、草場喜雄、中根智幸、大内彬弘、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司... 鋸歯状病変を背景に腫瘍化した病変の 1 例. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8

113. 草場喜雄、鶴田 修、永田 務、大内彬弘、中根智幸、福永秀平、向笠道太、光山慶一、鳥村拓司... 潰瘍性大腸炎に発生した早期大腸癌の一例. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
114. 久賀征一郎、長田修一郎、森田恭代、長田英輔、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司... 当院での術前原因診断が困難であった腸閉塞症例の検討. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
115. 島松 裕、阪上尊彦、岡部義信、安元真希子、牛島知之、深堀 理、川本祐輔、中山剛一、谷川雅彦、内藤嘉紀、鶴田 修、鳥村拓司... 主膵管拡張の増悪を契機に切除し得た low grade PanIN の一例. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
116. 江田 誠、江森啓悟、國武泰史、久永 宏、井上博人、於保和彦、豊永 純、鶴田 修、鳥村拓司... 部分的脾動脈塞栓術 (PSE) が奏功した左側門脈圧亢進症の一例. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
117. 中尾昂史、田中寛士、南 真平、白地美紀、梶原雅彦、小野典之、鳥村拓司... 診断に多くの鑑別を要し肝生検が有用であった自己免疫性肝炎の一例. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
118. 山口翔太郎、坂田研二、宮崎 健、原 洋平、吉武めぐみ、林 大樹、豊増 靖、森田 拓、河野克俊、島松一秀、野口和典、鳥村拓司... IgG4 関連自己免疫性肝炎が疑われた慢性肝障害の 1 例. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
119. 河野 隆、蒲池直紀、下瀬茂男、新関 敬、岩本英希、城野智毅、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... レンパチニブ関連間質性肺疾患を早期診断し、良好な経過を認めた肝細胞癌患者の一例. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
120. 高木孝太、宮島一郎、桑原朝子、力武祐一郎、桑野 徹、南野隆一、安倍弘彦、鳥村拓司... MR 拡散強調画像が肝内微小膿瘍の診断と経過観察に有用であった 1 例. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
121. 阪上尊彦、岡部義信、石田祐介、安元真希子、鳥村拓司. シンポジウム(2). 胆膵管狭窄に挑む-挑戦・治療の最前線. 当院の胆道癌に対する ERCP 下胆管細胞診・生検診断能の後方視的検討. 第 114 回日本消化器病学会九州支部例会 第 108 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 宮崎市. 2019/11/8
122. 川口 巧、橋田竜騎、鳥村拓司. ワークショップ(21). 消化器がん患者におけるサルコペニア対策について. がんリハビリテーションが進行肝癌患者のサルコペニアと予後におよぼす影響. 27th JDDW (第 17 回日本消化器外科学会大会、第 61 回日本消化器病学会大会、第 23 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
123. 川口 巧、中野 暖、鳥村拓司. パネルディスカッション(1). NAFLD, NASH 診療の最前線と今後の展開. SGLT2 阻害剤が NASH 関連肝癌マウスモデルの腫瘍増殖と代謝におよぼす影響. 27th JDDW (第 23 回日本肝臓学会大会、第 61 回日本消化器病学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
124. 天野恵介、井出達也、鳥村拓司. ワークショップ(11). B 型肝炎診療; 未来への展望を踏まえた現在の在り方. HBeAg 陰性例における HBVDNA 制御下での肝発癌因子の検討. 27th JDDW (第 23 回日本肝臓学会大会、第 61 回日本消化器病学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
125. 中村 徹、古賀浩徳、増田篤高、安倍満彦、岩本英希、鈴木浩之、鳥村拓司... 肝硬変モデルマウスに対するヒト iPS 細胞由来肝細胞様細胞及び血管内皮細胞を用いた新たな治療法の開発. 27th JDDW (第 23 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
126. 中野 暖、川口 巧、岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司... SGLT2 阻害剤がヒト肝癌細胞株の増殖

- と代謝におよぼす影響. 27th JDDW(第 23 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 127.野田 悠、川口 巧、是永匡紹、由雄祥代、中野聖士、新関 敬、古賀浩徳、考藤達哉、鳥村拓司... 非ウイルス性肝細胞癌患者の予後における IL-34 および YKL-40 の意義. 27th JDDW(第 23 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 128.城野智毅、新関 敬、岩本英希、下瀬茂男、古賀浩徳、鳥村拓司... 右心房内腫瘍栓を伴う切除不能肝細胞癌に対する肝動注化学療法 (New-FP) と放射線治療の治療成績. 27th JDDW(第 23 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 129.岩本英希、新関 敬、永松洋明、下瀬茂男、城野智毅、中野聖士、岡村修祐、野田 悠、蒲池直樹、山口泰三、田中正俊、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... BCLC Stage C の高度脈管侵襲を有する進行肝細胞癌に対する肝動注化学療法 New FP 療法とソラフェニブの治療成績の多施設後ろ向き比較研究. 27th JDDW(第 23 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 130.下瀬茂男、新関 敬、岩本英希、城野智毅、蒲池直紀、野田 悠、岡村修佑、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... BCLC B 肝細胞癌における suitable TACE 及び分子標的薬介入の意義. 27th JDDW(第 23 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 131.佐野有哉、井出達也、川口俊弘、天野恵介、桑原礼一郎、有永照子、鳥村拓司... B 型慢性肝疾患における、ADV/TDF から TAF への切り替えによる腎・尿細管機能・リン代謝の推移. 27th JDDW(第 23 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 132.吉岡慎一郎、光山慶一、鳥村拓司. ワークショップ(14). 消化器疾患におけるバイオマーカーとその応用 (がん以外) . 新規 IBD 血清抗体マーカーを用いたマルチバイオマーカー診断の有用性: 多施設共同研究. 27th JDDW(第 61 回日本消化器病学会大会、第 98 回日本消化器内視鏡学会総会、第 23 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 133.中野聖士、古賀浩徳、鳥村拓司... 高齢進行肝細胞癌症例に対するレンパチニブ治療. 27th JDDW(第 61 回日本消化器病学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 134.山崎 博、今井徹朗、荒木俊博、森田 俊、吉村哲弘、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、吉岡慎一郎、深水 圭、光山慶一、鳥村拓司... 潰瘍性大腸炎に対する single-needle 法を用いた血球成分除去療法(GMA/LCAP): 後ろ向きの予備的な安全性解析. 27th JDDW(第 61 回日本消化器病学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 135.大内彬弘、鶴田 修、鳥村拓司. パネルディスカッション(3). 大腸 T1(SM)癌の内視鏡診断と治療の今後の課題. 深部浸潤大腸 SM 癌に対する内視鏡診断の可能性. 27th JDDW(第 98 回日本消化器内視鏡学会総会、第 61 回日本消化器病学会大会、第 17 回日本消化器外科学会大会、第 57 回日本消化器がん検診学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 136.牛島知之、岡部義信、鳥村拓司. ワークショップ(13). (JGES Core Session) 急性膵炎後の諸問題に対する内視鏡の役割. 急性膵炎後の PFC(Pancreatic/peripancreatic fluid collection) に対する EUS 下経消化管的ドレナージ術の検討. 27th JDDW(第 98 回日本消化器内視鏡学会総会、第 61 回日本消化器病学会大会、第 17 回日本消化器外科学会大会) . 神戸市. 2019/11/21
- 137.阪上尊彦、岡部義信、倉岡 圭、牛島知之、石田祐介、安元真希子、寺部寛哉、島松 裕、鶴田 修、鳥村拓司... 胆管空腸吻合術後例に対する ERCP 関連手技の有用性と問題点. 27th JDDW(第 98 回日本消化器内視鏡学会総会) . 神戸市. 2019/11/21
- 138.森 敦、吉岡慎一郎、桑木光太郎、山内亨介、吉村哲広、森田 俊、荒木俊博、酒見亮介、光山慶一、鳥村拓司... 炎症性腸疾患患者における血清カルプロテクチンの検討. 第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会 (JSIBD) . 福岡市. 2019/11/29
- 139.吉村哲広、桑木光太郎、吉岡慎一郎、荒木俊博、森田 俊、森 敦、山内亨介、水落建輝、光山慶一、鳥村拓司... 小児~若年炎症性腸疾患における内視鏡的活動度の指標としての便中カルプロテクチンの意義. 第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会 (JSIBD) . 福岡市. 2019/11/29
- 140.山崎 博、光山慶一、衣笠哲史、石原 潤、水落建輝、溝口充志、秋葉 純、田中美穂、南小

- 百合、高木考実、鳥越優子、石橋幹雄、多賀百合、今井徹郎、荒木俊博、森田 俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、吉岡慎一郎、赤木由人、鳥村拓司... 久留米大学炎症性腸疾患センター市民公開講座で実施したアンケート調査に関する検討. 第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会 (JSIBD) . 福岡市. 2019/11/29
141. 酒見亮介、吉岡慎一郎、山内亨介、森 敦、吉村哲広、森田 俊、荒木俊博、桑木光太郎、溝口充志、宗 祐人、光山慶一、鳥村拓司... 炎症性腸疾患患者における血中 Interleukin-22 (IL22) および IL22-binding protein (IL22BP) . 第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会 (JSIBD) . 福岡市. 2019/11/29
142. 中村 徹、古賀浩徳、増田篤高、岩本英希、阪上尊彦、鈴木浩之、鳥村拓司... 肝線維症モデルマウスに対するヒト iPS 細胞由来肝細胞様細胞及び血管内皮細胞を用いた新たな肝再生治療の開発. 第 33 回肝類洞壁細胞研究会学術集会. 大阪市. 2019/11/30
143. 桑野 徹、宮島一郎、高木孝太、力武祐一郎、桑原朝子、南野隆一、安倍弘彦、鳥村拓司... B 型慢性肝疾患に対するエンテカビル後発品への切り替えによる有効性と安全性の検討. 第 43 回日本肝臓学会西部会. 下関市. 2019/12/12
144. 緒方 啓、堀まいさ、東恵理子、杉山 元、井出達也、鳥村拓司... 当院におけるグレカプレビル・ピブレンタスビル療法の治療成績. 第 43 回日本肝臓学会西部会. 下関市. 2019/12/12
145. 川口俊弘、井出達也、佐野有哉、天野恵介、桑原礼一郎、有永照子、白地美紀、鳥村拓司... C 型慢性肝疾患における肝線維化マーカー (特に ELF スコア (ヒアルロン酸, PIIP, TIMP-1)) の DAA 治療前後の推移と肝発癌に関する検討. 第 43 回日本肝臓学会西部会. 下関市. 2019/12/12
146. 江田 誠、城野智毅、新関 敬、下瀬茂男、岩本英希、岡村修祐、中野聖士、野田 悠、蒲池直紀、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 若手医師症例報告奨励賞 若手 1 HCC 症例. Fontan 術後肝疾患に発生した肝細胞癌に対し Low-dose FP 療法及び放射線療法で治療を行った一例. 第 43 回日本肝臓学会西部会. 下関市. 2019/12/12
147. 佐野有哉、井出達也、鳥村拓司. シンポジウム(1). B 型肝炎治療の現状と新たな治療戦略. 当院における核酸アナログ製剤による腎機能への影響と ADV/TDF から TAF 切り替え後の腎・尿細管機能およびリン代謝の評価. 第 43 回日本肝臓学会西部会. 下関市. 2019/12/12
148. 新関 敬、岩本英希、鳥村拓司. シンポジウム(3). 肝臓診療の現状と展開. 分子標的療法の時代における up to 7 基準外の進行肝細胞癌に対する New FP 療法の役割. 第 43 回日本肝臓学会西部会. 下関市. 2019/12/12
149. 川口 巧、山村咲良、鳥村拓司. シンポジウム(5). NASH と ASH, その診断と治療への対応. 肝硬度上昇に関わる生活習慣: 中等度飲酒と運動習慣の意義. 第 43 回日本肝臓学会西部会. 下関市. 2019/12/12
150. 中村 徹、古賀浩徳、鳥村拓司. シンポジウム(8). 肝移植と肝臓再生療法の最前線. 非代償性肝硬変に対する末梢血 CD34 陽性細胞移植による肝臓再生療法の現状. 第 43 回日本肝臓学会西部会. 下関市. 2019/12/12
151. 増田篤高、中村 徹、安倍満彦、岩本英希、阪上尊彦、田中俊光、鈴木浩之、古賀浩徳、鳥村拓司... TGFβ 阻害剤 galunisertib の肝硬変治療薬としての基礎的研究. 第 5 回 G-PLUS. 東京. 2019/12/14
152. 岩本英希、下瀬茂男、新関 敬、津村紗代、中野聖士、城野智毅、山口泰三、田中正俊、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝細胞癌に対するレンパチニブ投与における有害事象出現時期と外来テレフォンプォローアップの重要性について. 第 21 回日本肝がん分子標的治療研究会. 東京. 2020/1/11
153. 中野聖士、黒松亮子、新関 敬、岡村修祐、岩本英希、下瀬茂男、城野智毅、野田 悠、蒲池直紀、古賀浩徳、鳥村拓司... 進行肝細胞癌に対する分子標的治療の予後予測における好中球/リンパ球比の有用性. 第 21 回日本肝がん分子標的治療研究会. 東京. 2020/1/11
154. 吉岡慎一郎、山内亨介、光山慶一、鳥村拓司. シンポジウム (1) . 性差と消化器疾患. 炎症性腸疾患合併妊娠の実例. 第 13 回日本性差医学・医療学会学術集会. 久留米市. 2020/1/18
155. Kawaguchi T, Yamamura S, Nakano D, Tomiyasu Y,

- Yoshinaga S, Doi Y, Takahashi H, Anzai K, Eguchi Y, Torimura T. ワークショップ(3). Recent Advances in NASH Research –from bench to bedside. 健診受診者における肝線維化と小～中等度飲酒の関連：shear wave elastography を用いた検討 An Association between Mild-to-moderate Drinking and Hepatic Fibrosis Evaluated by Shear Wave Elastography in Health Check-up Examinees. 第 39 回アルコール医学生物学研究会学術集会. 東京. 2020/1/24
156. 国武和也、川口俊弘、有永照子、森重 聡、佐野有哉、天野恵介、桑原礼一郎、井出達也、鳥村拓司... 原発性硬化性胆管炎の増悪時に自己免疫性溶血性貧血の発症を認めた症例. 第 328 回日本内科学会九州地方会. 福岡市. 2020/1/25
157. 田中寛士、南 真平、小林哲平、白地美紀、梶原雅彦、小野典之、富岡竜介、鳥村拓司... 治療に難渋した若年性ポリポーシスの 1 例. 第 328 回日本内科学会九州地方会. 福岡市. 2020/1/25
158. Torimura T... Current Status of Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy. THE 24 TH International Symposium of Yonsei Institute of Gastroenterology. Avison Biomedical Research Center, Yonsei University Health System. 2020/2/1
159. Niizeki T, Iwamoto H, Shirono T, Shimose S, Koga H, Torimura T... Role of hepatic arterial infusion chemotherapy (New FP) for advanced HCC in the era of molecular target therapy . THE 24 TH International Symposium of Yonsei Institute of Gastroenterology. Avison Biomedical Research Center, Yonsei University Health System. 2020/2/1
160. 石井海人、内藤嘉紀、秋葉 純、谷川雅彦、矢野博久、川口 巧、古賀浩徳、鳥村拓司... 直腸カルチノイドにおける INSM1 発現の検討. 第 12 回福岡県医学会総会. 福岡市. 2020/2/2
161. 江田 誠、有永照子、井出達也、緒方 啓、桑原礼一郎、天野恵介、川口俊弘、佐野有哉、新関 敬、鳥村拓司... エンテカビル錠薬により HBe 抗原のセロコンバージョンと肝不全へ進行した B 型肝炎硬変の 1 例. 第 12 回福岡県医学会総会. 福岡市. 2020/2/2
162. Koga H, Imamura Y, Nakamura T, Iwamoto H, Sakaue T, Masuda A, Tanaka T, Nakano D, Suzuki H, Yano H, Torimura T... Opposite functions of Claudin-2 involving Wnt signaling in liver cancer cells. The (110th) Virtual Annual Meeting of the American Association for Cancer Research(AACR). WEB. 2020/4/27
163. 堀まいさ、緒方 啓、吉村哲広、東恵理子、有永照子、鳥村拓司... 仕事と子供と私一時々、夫一. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
164. 南 真平、向笠道太、福永秀平、中根智幸、長知徳、永田 務、大内彬弘、草場喜雄、荒木俊博、秋葉 純、森 直樹、的場 吾、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司... 食道原発悪性黒色腫の一例. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
165. 平井真吾、安元真希子、岡部義信、牛島知之、深堀 理、島松 裕、鶴田 修、鳥村拓司... 膵腸吻合部狭窄に対して経消化管（輸入脚）的膵管ドレナージ術を行なった 1 例. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
166. 中根智幸、向笠道太、福永秀平、長 知徳、南真平、大内彬弘、永田 務、草場喜雄、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司... AFP 産生胃癌の 2 例. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
167. 福永秀平、草場喜雄、荒木俊博、長 知徳、中根智幸、永田 務、大内彬弘、向笠道太、秋葉純、光山慶一、鶴田 修、鳥村拓司... 超拡大内視鏡と AI が潰瘍性大腸炎関連腫瘍のサーベイランスに有用であった一例. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
168. 田中寛士、中尾昂史、白地美紀、梶原雅彦、小野典之、鳥村拓司... 大腸悪性狭窄に対して留置した大腸ステントによって腸管穿孔をきたしかけた一例. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
169. 榊原重成、松垣 諭、宋 祐人、平塚裕也、武田和大、別府剛志、寺部寛哉、酒見亮介、鳥村拓司... 動脈塞栓術で止血しえた大腸憩室出血の 1 例. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例

- 会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
170. 蒲池直紀、岡村修祐、安元真希子、野田 悠、中野聖士、岡部義信、黒松亮子、鳥村拓司... 肝内に非典型的画像所見を呈した IgG4 関連疾患の一例. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
171. 桑野 徹、山口翔太郎、宮崎 健、林 大樹、豊増 靖、森田 拓、河野克俊、坂田研二、野口和典、杉町圭史、鳥村拓司... 診断に苦慮した胃 GIST 術後 32 年目に多発肝転移をきたした一例. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
172. 河野 隆、蒲池直紀、野田 悠、下瀬茂男、新関 敬、岩本英希、城野智毅、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝原発腺扁平上皮癌の 1 例. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
173. 吉岡慎一郎、山内亨介、荒木俊博、鶴田耕三、森田 俊、吉村哲広、森 敦、桑木光太郎、光山慶一、鳥村拓司. シンポジウム (2). IBD special situation における諸問題(消化器病・内視鏡). 当院における炎症性腸疾患合併妊娠の現状と問題点. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
174. 新関 敬、下瀬茂男、鳥村拓司. シンポジウム (3). 肝がん治療の最前線 (消化器病). 分子標的治療薬の時代における進行肝細胞癌に対する TACE, 肝動注化学療法への役割. 第 115 回日本消化器病学会九州支部例会 第 109 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. 誌上開催. 2020/6/19
175. Sakaue T, Koga H, Iwamoto H, Imamura Y, Nakamura T, Masuda A, Tanaka T, Suzuki H, Ushijima T, Okabe Y, Torimura T. . . Pancreatic juice biomarker for detection of early stage pancreatic cancer using tumorspecific exosomal microRNAs. The (110th) Virtual Annual Meeting of the American Association for Cancer Research(AACR). WEB. 2020/6/22
176. 鈴木浩之、岩本英希、中村 徹、増田篤高、阪上尊彦、田中俊光、中野 暖、今村恭子、早川政子、古賀浩徳、鳥村拓司. シンポジウム(1). 肝免疫と微細環境. レンバチニブは肝細胞癌の免疫微小環境を immune cold から hot へと変化させる. 第 57 回日本消化器免疫学会総会. 誌上開催. 2020/7/2
177. 吉岡慎一郎、酒見亮介、光山慶一、荒木俊博、鶴田耕三、森田 俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、鳥村拓司. シンポジウム(1). 肝免疫と微細環境. 新規血清バイオマーカーを活動性指標とした炎症性腸疾患治療への試み. 第 57 回日本消化器免疫学会総会. 誌上開催. 2020/7/2
178. 川口 巧、橋田竜騎、鳥村拓司. 合同シンポジウム (1). 日本動脈硬化学会・日本肝臓学会合同シンポジウム. NAFLD/NASH における運動療法の Systematic Review とハイブリッドトレーニングの有効性. 第 52 回日本動脈硬化学会総会・学術集会. WEB. 2020/7/17
179. 牛島知之、島松 裕、鶴田 修、鳥村拓司... 3 年間のステロイド維持療法後に投与を中止した自己免疫性膵炎の再熱に関わる因子の検討. 第 106 回日本消化器病学会総会. WEB. 2020/8/11
180. 阪上尊彦、岡部義信、石田祐介、安元真希子、牛島知之、島松 裕、平井真吾、深堀 理、鳥村拓司... 当院における胆管狭窄に対する経乳頭の病理診断能の成績と問題点. 第 106 回日本消化器病学会総会. WEB. 2020/8/11
181. 川口俊弘、井出達也、鳥村拓司... 当院における C 型非代償性肝硬変におけるソホスブビル/ペルパタスビル (SOF/VEL) 14 症例での治療効果・副作用に関する検討. 第 106 回日本消化器病学会総会. WEB. 2020/8/11
182. 中野 暖、川口 巧、岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司... SGLT2 阻害剤が NASH 関連肝癌マウスモデルの腫瘍増殖と肝癌細胞の代謝におよぼす影響: Multi-omics analysis. 第 106 回日本消化器病学会総会. WEB. 2020/8/11
183. 中村 徹、増田篤高、鳥村拓司. シンポジウム (1). 消化器疾患に対する再生医療の現状と展望. C 型非代償性肝硬変症に対する自家末梢血 CD34 陽性細胞を用いた肝再生治療開発. 第 106 回日本消化器病学会総会. WEB. 2020/8/11
184. 川口 巧、山村咲良、鳥村拓司. パネルディスカ

- ッション (4) . NAFLD 診療の最前線. FIB-4index と shear wave elastography を用いた検診受診者の肝硬度の実態と病態: データマイニング解析. 第 106 回日本消化器病学会総会. WEB. 2020/8/11
185. 井出達也、有永照子、鳥村拓司. ワークショップ (1) . 消化器癌一次予防の新たなコンセンサス. 抗ウイルス治療が肝癌予防に有効に行われているか. 最近の初発肝癌例の治療状況の検討. 第 106 回日本消化器病学会総会. WEB. 2020/8/11
186. 黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司. ワークショップ (2) . 肝疾患の疫学と自然史. 27 年間に診断された肝癌症例の臨床的特徴と生存の推移-短期死亡例の検討. 第 106 回日本消化器病学会総会. WEB. 2020/8/11
187. 岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司. ワークショップ (6) . 臨床応用に向けた肝癌の病態解明. 肝細胞癌に対する血管新生阻害剤の正常臓器血管への影響と癌血管特異的遺伝子の探索. 第 106 回日本消化器病学会総会. WEB. 2020/8/11
188. 佐野有哉、芥田憲夫、粕谷加代子、川村祐介、鈴木義之、鳥村拓司、熊田博光... 造血幹細胞移植後の de novo B 型肝炎に伴う急性肝不全 (昏睡型) から内科的治療で救命し得た 1 例. 第 46 回日本急性肝不全研究会. 千葉市. 2020/8/27
189. Kawaguchi T、Emori K、Torimura T . JSH-CHESS Joint Session / Unmet Needs in Portal Hypertension. Current Treatment and Unsolved Issue for Portal Hypertension Based on Japanese Guidelines of Liver Cirrhosis. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
190. 中野 暖、川口 巧、岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司 ... SGLT2 阻害剤が肝細胞癌の増殖と代謝に及ぼす影響. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
191. 城野智毅、新関 敬、岩本英希、下瀬茂男、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司 ... 肝細胞癌 (HCC) に対する Balloon-Occluded Transarterial Chemoembolization (B-TACE) と Coventional TACE (C-TACE) の TE4. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
192. 新関 敬、下瀬茂男、岩本英希、城野智毅、中野聖士、野田 悠、岡村修祐、蒲池直紀、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 分子標的治療薬の時代における肝動脈化学塞栓術と肝動注化学療法法の適応をその CR 例から考察する. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
193. 井出達也、江口有一郎、原田 大、磯田広史、本間雄一、有永照子、桑原礼一郎、天野恵介、川口俊弘、佐野有哉、鳥村拓司 ... 高齢者 C 型肝疾患での DAA 治療 SVR 例の発癌についての検討-propensity score matching を用いた検討も含めて-. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
194. 土橋 仁、川口 巧、真田 拓、橋田竜騎、鳥村拓司、野ツ俣和夫... 運動療法が肝細胞癌患者のフレイルに及ぼす影響. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
195. 鈴木浩之、岩本英希、中村 徹、増田篤高、阪上尊彦、田中俊光、中野 暖、古賀浩徳、鳥村拓司 ... レンバチニブは腫瘍免疫微小環境を免疫学的 'cold' から 'hot' へ変化させる. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
196. 下瀬茂男、新関 敬、岩本英希、城野智毅、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、田中正俊、古賀浩徳、鳥村拓司 ... レンバチニブにおける有害事象発現時期と有害事象による治療中止に関わる因子の検討. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
197. 原崎礼子、緒方 啓、堀まいさ、東恵理子、吉村哲広、北川利香、江崎祐子、益永 愛、渡邊悦富、白石智己、森下麻子、中島由佳里、井出達也、鳥村拓司... 当院の多職種による肝炎ワーキングチームの立ち上げと活動. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
198. 井出達也、天野恵介、鳥村拓司... 福岡県における無料肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診の状況. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
199. 岩尾直樹、岡村修祐、蒲池直紀、野田 悠、城野智毅、下瀬茂男、岩本英希、中野聖士、新関敬、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司 ... 再発時に神経内分泌マーカーの発現を獲得したと考えられる肝細胞癌の一例. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
200. 岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司. シンポジウム (4).

- 肝疾患と微小環境. 分子標的治療薬による癌及び臓器微小環境の変化は、有害事象の出現や癌の進展及び薬剤抵抗性に関与しうる. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
201. 川口俊弘、井出達也、鳥村拓司. パネルディスカッション (1) . C 型非代償性肝硬変に対する抗ウイルス治療. 当院・関連施設における C 型非代償性肝硬変におけるソホスビル/ベルパタスビル (SOF/VEL) 26 症例での治療効果・副作用に関する検討. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
202. 中野聖士、古賀浩徳、鳥村拓司. パネルディスカッション (3) . 肝臓に対する分子標的治療および免疫治療 Liver cancer related session (Molecular Targeted Therapy and Immunotherapy) . 進行肝細胞癌に対する分子標的薬による一次治療に関する Propensity score matching を用いた比較. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
203. 川口 巧、山村咲良、鳥村拓司. パネルディスカッション (6) . 肝臓・肝炎の拾い上げとリスク評価 How to find population carrying risk for hepatitis and/or hepatocellular carcinoma. 健診受診者における肝線維化進展に関わるアルゴリズム: shear wave elastography とデータマイニングを用いた検討. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
204. 川口 巧、橋田竜騎、鳥村拓司. パネルディスカッション (7) . 肝疾患とサルコペニア—現状・課題・将来展望— Liver disease and sarcopenia: current status, remaining issues and future prospects. 慢性肝疾患患者における JSH サルコペニア判定基準と Liver Frailty Index の筋萎縮予測指標としての有用性の検討. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
205. 桑原礼一郎、井出達也、鳥村拓司. パネルディスカッション (8) . 肝移植医療における内科・外科連携の現状と問題点 Current status and Issues of cooperation between physicians and surgeons in Liver Transplantation. 肝臓内科医の肝移植医療への貢献度を向上させるために—肝臓内科医が外科肝移植チームでの研修で得たもの—. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
206. 有永照子、井出達也、鳥村拓司. ワークショップ (5) . 自己免疫性肝疾患の新展開 Update on autoimmune liver diseases. 自己免疫性肝炎におけるアザチオプリン治療の役割. 第 56 回日本肝臓学会総会. 大阪市. 2020/8/28
207. 島松 裕、岡部義信、安元真希子、阪上尊彦、牛島知之、深堀 理、谷川雅彦、内藤嘉紀、鶴田 修、鳥村拓司... 当院で経験した膵神経内分泌腫瘍 (PNEN) に対する EUS-FNA の診断能の検討. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会. 京都市. 2020/9/2
208. 安元真希子、岡部義信、牛島知之、阪上尊彦、島松 裕、内藤嘉紀、深堀 理、鶴田 修、鳥村拓司... 当院の TS1 膵癌における EUS-FNA の成績と問題点の検討. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会. 京都市. 2020/9/2
209. 牛島知之、岡部義信、島松 裕、阪上尊彦、深堀 理、安元真希子、鶴田 修、鳥村拓司... 当院における悪性十二指腸・胆管閉塞に対する内視鏡的ダブルステントの成績と問題点. 第 99 回日本消化器内視鏡学会総会. 京都市. 2020/9/2
210. Tanaka T, Koga H, Iwamoto H, Suzuki H, Sakaue T, Akiba J, Yano H, Torimura T . . Anti-PD-L1 antibodies promote proliferation of sarcomatous liver cancer cells. 第 79 回日本癌学会学術総会. WEB. 2020/10/1
211. Suzuki H, Iwamoto H, Sakaue T, Tanaka T, Koga H, Torimura T . . Elevated serum IGFBP-1 levels after lenvatinib treatment reflect intratumoral ischemia. 第 79 回日本癌学会学術総会. WEB. 2020/10/1
212. 下河邊堯、酒井味和、岡部義信、安元真希子、平井真吾、牛島知之、黒松亮子、鳥村拓司... 小径の肝転移巣の描出に造影超音波検査が有用であった膵頭部癌の 1 例. 日本超音波医学会 (第 30 回九州地方会学術集会) . 久留米市. 2020/10/4
213. 酒井味和、新関 敬、牛島知之、岡村修祐、城野智毅、岩本英希、下瀬茂男、黒松亮子、鳥村拓司... 胆管内腫瘍栓と凝血塊の鑑別に造影超音波検査が有用であった肝細胞癌の一例. 日本超音波医学会 (第 30 回九州地方会学術集会). 久留米市. 2020/10/4
214. 大田 諭、酒井味和、城野智毅、新関 敬、岡村修祐、蒲池直紀、野田 悠、中野聖士、黒松

- 亮子、鳥村拓司... 造影超音波検査が診断の一助となった肝細胞癌脾転移の一例. 日本超音波医学会 (第 30 回九州地方会学術集会). 久留米市. 2020/10/4
215. 蒲池直紀、黒松亮子、岡村修祐、野田 悠、城野智毅、中野聖士、新関 敬、中島 収、鳥村拓司 ... 造影超音波を施行しえた肝転移の腹腔内破裂を契機に診断された性腺外発生の絨毛癌の一例. 日本超音波医学会 (第 30 回九州地方会学術集会). 久留米市. 2020/10/4
216. 岡村修祐、黒松亮子、酒井味和、蒲池直紀、野田 悠、中野聖士、中島 収、鳥村拓司... 「マルチモダリティ時代に超音波検査に求められるものは何か」多様化する肝臓診療における超音波検査の役割. 日本超音波医学会 (第 30 回九州地方会学術集会). 久留米市. 2020/10/4
217. 江田 誠、佐野有哉、川口俊弘、天野恵介、桑原礼一郎、江森啓悟、有永照子、井出達也、於保和彦、鳥村拓司... 原発性骨髄線維症に伴う門脈圧亢進症、難治性腹水に対してトルバプタン、ルキシソリチニブを導入した一例. 第 27 回日本門脈圧亢進症学会総会. WEB. 2020/10/28
218. 向笠道太、江森啓悟、井上博人、久永 宏、於保和彦、豊永 純、鳥村拓司... 食道静脈瘤上に存在する表在食道癌に対し内視鏡治療を施行した一例. 第 27 回日本門脈圧亢進症学会総会. WEB. 2020/10/28
219. 久永 宏、江森啓悟、井上博人、井出達也、於保和彦、豊永 淳、鳥村拓司. パネルディスカッション (1). ウイルス性肝炎 SVR 後に門脈圧亢進症は改善するか. C 型肝炎直接作用型抗ウイルス薬投与前後における食道胃静脈瘤の変化に関する検討. 第 27 回日本門脈圧亢進症学会総会. WEB. 2020/10/28
220. 桑原礼一郎、江森啓悟、井上博人、天野恵介、久永 宏、佐野有哉、有永照子、井出達也、鳥村拓司. ワークショップ (3). 肝移植と門脈圧亢進症 -現状と問題点-. 肝移植医療における外科・内科の連携と肝臓内科医の貢献. 第 27 回日本門脈圧亢進症学会総会. WEB. 2020/10/28
221. 久永 宏、江森啓悟、井上博人、於保和彦、豊永 淳、鳥村拓司. 要望演題 1. 小児の門脈圧亢進症. 小児食道胃静脈瘤治療の検討. 第 27 回日本門脈圧亢進症学会総会. WEB. 2020/10/28
222. 江森啓悟、井上博人、久永 宏、於保和彦、豊永 純、鳥村拓司. 要望演題 2. 異所性静脈瘤. 当科における異所性静脈瘤の治療戦略. 第 27 回日本門脈圧亢進症学会総会. WEB. 2020/10/28
223. 井上博人、江森啓悟、久永 宏、於保和彦、豊永 純、鳥村拓司. 要望演題 5. 左側門脈圧亢進症. 左側門脈圧亢進症に伴う胃静脈瘤に対する診断と治療. 第 27 回日本門脈圧亢進症学会総会. WEB. 2020/10/28
224. 新関 敬、江森啓悟、井上博人、久永 宏、鳥村拓司. 要望演題 6. 肝臓合併門脈圧亢進症に対するマネジメント. 肉眼的脈管浸潤を有する進行肝細胞癌に対する New FP 療法を施行した症例における胃食道静脈瘤の臨床的危険因子の検討. 第 27 回日本門脈圧亢進症学会総会. WEB. 2020/10/28
225. 牛島知之、岡部義信、島松 裕、平井真吾、深堀 理、安元真希子、鶴田 修、鳥村拓司... 急性膵炎後の膵周囲液体貯留に対する内視鏡治療の有用性と問題点に関する後方視的検討. 28th JDDW (第 100 回日本消化器内視鏡学会総会). 神戸市. 2020/11/5
226. 吉岡慎一郎、福永秀平、光山慶一、荒木俊博、鶴田耕三、森田 俊、吉村哲広、森 敦、山内亨介、桑木光太郎、草場喜雄、永田 務、向笠道太、鶴田 修、鳥村拓司... 画像強調内視鏡を用いた潰瘍性大腸炎関連腫瘍の特徴-色素拡大内視鏡から超拡大内視鏡と AI 解析まで-. 28th JDDW (第 100 回日本消化器内視鏡学会総会). 神戸市. 2020/11/5
227. 川口 巧、由雄祥代、鳥村拓司. ワークショップ (2). 肝臓を基軸とした臓器連関. 筋収縮誘発性マイオカイン decorin が肝臓患者の身体機能と予後におよぼす影響. 28th JDDW (第 24 回日本肝臓学会大会、第 62 回日本消化器病学会大会、第 18 回日本消化器外科学会大会、第 58 回日本消化器がん検診学会大会). 神戸市. 2020/11/5
228. 佐野有哉、井出達也、鳥村拓司... 当院・関連施設における C 型非代償性肝硬変に対するソホスブビル/ベルパタスビルの治療効果・副作用に関する検討. 28th JDDW (第 24 回日本肝臓学会大会). 神戸市. 2020/11/5
229. 鈴木浩之、岩本英希、鳥村拓司... Lenvatinib は腫瘍微小環境を immune cold から hot へと変化

- させる. 28th JDDW (第 24 回日本肝臓学会大会). 神戸市. 2020/11/5
230. 増田篤高、中村 徹、鳥村拓司... 培養 CD34 陽性細胞移植は NASH に伴う肝線維化を抑制する. 28th JDDW (第 24 回日本肝臓学会大会). 神戸市. 2020/11/5
231. 岩本英希、下瀬茂男、新関 敬、中野聖士、城野智毅、高田晃男、鈴木浩之、古賀浩徳、鳥村拓司... 切除不能進行肝細胞癌に対するレンパチニブ 5 投 2 休法の基礎と臨床. 28th JDDW (第 24 回日本肝臓学会大会). 神戸市. 2020/11/5
232. 岡村修祐、下瀬茂男、新関 敬、蒲池直紀、野田 悠、城野智毅、岩本英希、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 造影 CT における造影効果を含めた腫瘍因子からみたレンパチニブの治療効果について. 28th JDDW (第 24 回日本肝臓学会大会). 神戸市. 2020/11/5
233. 蒲池直紀、下瀬茂男、岩本英希、新関 敬、野田 悠、城野智毅、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 当院における切除不能進行肝細胞癌に対するラムシルマブの初期使用経験. 28th JDDW (第 24 回日本肝臓学会大会). 神戸市. 2020/11/5
234. 下瀬茂男、新関 敬、岩本英希、城野智毅、岡村修祐、中野聖士、高田晃男、田中正俊、古賀浩徳、鳥村拓司... TACE 不応肝細胞癌に対するレンパチニブ療法と repeated TACE の有効性の比較 傾向スコアを用いて. 28th JDDW (第 24 回日本肝臓学会大会). 神戸市. 2020/11/5
235. 深堀 理、牛島知之、岡部義信、重藤宏太、田中俊光、長主祥子、阪上尊彦、島松 裕、安元真希子、三輪啓介、鶴田 修、鳥村拓司... 切除不能局所進行膵癌に対する Gemcitabine+nab-Paclitaxel 療法の単施設第 II 相試験. 28th JDDW (第 56 回日本消化器病学会大会). 神戸市. 2020/11/5
236. 中村 徹、増田篤高、鳥村拓司. シンポジウム (2). 消化器疾患に対する再生医療の応用. C 型非代償性肝硬変患者に対する自家末梢血 CD34 陽性細胞の経肝動脈投与による肝再生医療研究. 28th JDDW (第 62 回日本消化器病学会大会、第 100 回日本消化器内視鏡学会総会、第 24 回日本肝臓学会大会、第 18 回日本消化器外科学会大会). 神戸市. 2020/11/5
237. 黒松亮子、井出達也、鳥村拓司. シンポジウム (4). 肝炎ウイルス制御後の肝癌の実情と治療戦略. 肝癌根治後の DAA を用いた HCV 排除が肝癌再発に及ぼす影響. 28th JDDW (第 62 回日本消化器病学会大会、第 24 回日本肝臓学会大会、第 18 回日本消化器外科学会大会). 神戸市. 2020/11/5
238. Kawaguchi T, Takahashi H, Torimura T. International Session (Symposium) (1). NAFLD / NASH : 病態解明を目指した最新情報 2020 (NAFLD and NASH: Up-to-date 2020 for elucidation of pathology). An association between CLDQ-NAFLD and brain-derived neurotrophic factor in Japanese patients with NAFLD. 28th JDDW (第 62 回日本消化器病学会大会、第 24 回日本肝臓学会大会、第 58 回日本消化器がん検診学会大会). 神戸市. 2020/11/5
239. 中野 暖、川口 巧、鳥村拓司. ワークショップ (14). NAFLD/NASH 治療の展望. 歩行と電気刺激を用いたレジスタンス運動 Hybrid Training System (HTS) が NAFLD 患者の肝硬度におよぼす影響: ランダム化比較試験. 28th JDDW (第 62 回日本消化器病学会大会、第 24 回日本肝臓学会大会、第 58 回日本消化器がん検診学会大会). 神戸市. 2020/11/5
240. 島松 裕、岡部義信、安元真希子、牛島知之、平井真吾、深堀 理、谷川雅彦、内藤嘉紀、鶴田 修、鳥村拓司... 当院の膵神経内分泌腫瘍 (PNEN) に対する EUS-FNA の診断能の後方視的検討. 28th JDDW (第 62 回日本消化器病学会大会). 神戸市. 2020/11/5
241. 平井真吾、安元真希子、岡部義信、牛島知之、島松 裕、深堀 理、内藤嘉紀、鶴田 修、鳥村拓司... 当院の通常型膵癌に対する腫瘍径別にみた EUS-FNA の成績と問題点についての後方視的検討. 28th JDDW (第 62 回日本消化器病学会大会). 神戸市. 2020/11/5
242. Kawaguchi T, Eslam M, Yamamura S, Tsutsumi T, Nakano D, Yoshinaga S, Takahashi H, Anzai K, George J and Torimura T... MAFLD Exceeds NAFLD in Identification of Patients with Significant Hepatic Fibrosis. The Liver Meeting Digital Experience 2020 (The 71th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)). WEB. 2020/11/13

243. 蒲池直紀、下瀬茂男、岩本英希、新関 敬、野田 悠、城野智毅、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 当院における切除不能進行肝細胞癌に対するラムシルマブの初期使用経験. 第 22 回日本肝がん分子標的治療研究会. 金沢市. 2020/11/14
244. 城野智毅、下瀬茂男、新関 敬、岩本英希、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、田中正俊、古賀浩徳、鳥村拓司... レンパチニブにおける有害事象発現時期と有害事象による治療中止に関わる因子の検討. 第 22 回日本肝がん分子標的治療研究会. 金沢市. 2020/11/14
245. 岩本英希、下瀬茂男、新関 敬、中野聖士、城野智毅、鈴木浩之、岡村修祐、野田 悠、蒲池直紀、山口泰三、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 切除不能進行肝細胞癌に対するレンパチニブ Weekends-off 法 (5 投 2 休法) の基礎と臨床. 第 22 回日本肝がん分子標的治療研究会. 金沢市. 2020/11/14
246. 鈴木浩之、岩本英希、城野智毅、下瀬茂男、新関 敬、山口泰三、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司. プレナリーセッション 1.. レンパチニブ治療後の血清 IGFBP-1 値の上昇は腫瘍内部の虚血・低酸素を反映する. 第 22 回日本肝がん分子標的治療研究会. 金沢市. 2020/11/14
247. 下瀬茂男、田中正俊、新関 敬、岩本英希、城野智毅、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、山口泰三、菅 偉哉、野口和典、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司. プレナリーセッション 2.. BCLC B 肝細胞癌に対するレンパチニブ治療: on demand IVR 療法の付加的意義 (多施設共同研究). 第 22 回日本肝がん分子標的治療研究会. 金沢市. 2020/11/14
248. 増田篤高、中村 徹、古賀浩徳、鳥村拓司... NASH モデルマウスに対する培養 CD34 陽性細胞移植の抗線維化作用. 第 52 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. WEB. 2020/12/3
249. 古賀浩徳、阪上尊彦、増田篤高、中村 徹、矢野博久、鳥村拓司... Wnt シグナル中枢転写因子 TCE-4 バリエーションの癌細胞における高精度発現解析. 第 52 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. WEB. 2020/12/3
250. 増田 裕、高田珠里、林めぐみ、佐々木望、松隈則人、鳥村拓司... 前下脘十二指腸動脈瘤破裂の治療後に十二指腸狭窄を来した一例. 第 116 回日本消化器病学会九州支部例会 第 110 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
251. 住江博明、住江修治、安倍満彦、則松 宏、鳥村拓司... 胃型形質の低異型度分化型胃癌の一例. 第 116 回日本消化器病学会九州支部例会 第 110 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
252. 長田修一郎、久賀征一郎、森田恭代、長田英輔、光山慶一、鳥村拓司... 当院での高齢者と比較した若年者における虚血性腸炎の臨床的特徴. 第 116 回日本消化器病学会九州支部例会 第 110 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
253. 田中寛士、石井海人、山口翔太郎、南 真平、渡邊裕次郎、草場喜雄、渡辺靖友、白地美紀、梶原雅彦、小野典之、鳥村拓司... 当院で施行した大腸ステント留置の検討. 第 116 回日本消化器病学会九州支部例会 第 110 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
254. 菅原脩平、小林起秋、後藤諒介、深水 航、柴田 翔、上野恵里菜、河野弘志、鶴田 修、光山慶一、鳥村拓司... HCV のウイルス学的著効 (SVR) 後に多発肝細胞癌を発症した 1 例. 第 116 回日本消化器病学会九州支部例会 第 110 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
255. 酒井味和、野田 悠、岡村修祐、新関 敬、岩本英希、城野智毅、下瀬茂男、三原勇太郎、草野弘宣、蒲池直紀、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝原発腺扁平上皮癌の 1 例. 第 116 回日本消化器病学会九州支部例会 第 110 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
256. 大浦路子、井出達也、緒方 啓、堀まいさ、江森啓悟、鳥村拓司... 小腸出血、食道静脈瘤、門脈血栓を併発した原発性胆汁性胆管炎の一例. 第 116 回日本消化器病学会九州支部例会 第 110 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
257. 高木孝太、宮島一郎、桑原朝子、力武祐一郎、

- 桑野 徹、南野隆一、安倍弘彦、鳥村拓司、木村 有... 膵癌の浸潤による横行結腸閉塞に対して金属ステントを挿入後、早期に閉塞を来たした1例. 第116回日本消化器病学会九州支部例会 第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
258. 吉尾智一、野口和典、坂田研二、河野克俊、豊増 靖、森田 拓、林 大樹、宮崎 健、桑野 徹、河野 隆、西村 拓、田宮芳孝、鳥村拓司... 偽膜性腸炎にクリプトスポリジウム症を併発した1例. 第116回日本消化器病学会九州支部例会 第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
259. 下河邊堯、酒井味和、城野智毅、新関 敬、岩本英希、下瀬茂男、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝細胞癌脾転移に対して、造影超音波検査での経過観察が有用であった一例. 第116回日本消化器病学会九州支部例会 第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
260. 大田 諭、新関 敬、酒井味和、牛島知之、岩本英希、下瀬茂男、城野智毅、岡村修祐、野田悠、蒲池直紀、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 造影超音波検査で胆管内腫瘍栓の確定診断に至り、集学的治療を行った一例. 第116回日本消化器病学会九州支部例会 第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
261. 佐野有哉、川口俊弘、井出達也、天野恵介、桑原礼一郎、有永照子、鳥村拓司. ワークショップ(2). 肝炎診療の現在と未来. 当院・関連施設におけるC型非代償性肝硬変に対するソホスブビル / ベルパタスビルの治療効果の検討. 第116回日本消化器病学会九州支部例会 第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
262. 寺部寛哉、岡部義信、宋 祐人、鳥村拓司. ワークショップ(4). 胆膵領域における診断と治療の進歩. Roux-en Y 再建腸管例に対するショートタイプのダブルバルーンとシングルバルーン. 第116回日本消化器病学会九州支部例会 第110回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 合同. WEB. 2020/12/4
263. 森田 俊、鶴田耕三、荒木俊博、吉村哲広、山崎 博、桑木光太郎、吉岡慎一郎、竹田津英稔、光山慶一、鳥村拓司... 慢性大腸炎モデルに対する青黛の有効性と作用機序についての検討. 第11回日本炎症性腸疾患学会学術集会(JSIBD). WEB. 2020/12/5
264. 酒見亮介、吉岡慎一郎、森田 拓、森田 俊、鶴田耕三、森 敦、吉村哲広、荒木俊博、桑木光太郎、宗 祐人、光山慶一、鳥村拓司... 炎症性腸疾患における血清LRG測定の有効性についての検討. 第11回日本炎症性腸疾患学会学術集会(JSIBD). WEB. 2020/12/5
265. 岩本英希、鈴木浩之、阪上尊彦、今村恭子、早川政子、中村 徹、増田篤高、田中俊光、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝細胞癌における癌血管特異的 micro RNA を利用した血管新生抑制治療. 第34回肝類洞壁細胞研究会学術集会. 久留米市. 2020/12/17
266. 鈴木浩之、岩本英希、中村 徹、増田篤高、阪上尊彦、田中俊光、今村恭子、早川政子、古賀浩徳、鳥村拓司... HCC に対する分子標的治療が腫瘍免疫微小環境に与える影響の検討. 第34回肝類洞壁細胞研究会学術集会. 久留米市. 2020/12/17
267. 増田篤高、中村 徹、岩本英希、鈴木浩之、阪上尊彦、田中俊光、古賀浩徳、鳥村拓司... NASHモデルマウスにおける培養 CD34 陽性細胞移植療法の抗線維化作用の検討. 第34回肝類洞壁細胞研究会学術集会. 久留米市. 2020/12/17
268. 岡村修祐、下瀬茂男、新関 敬、蒲池直紀、野田 悠、城野智毅、岩本英希、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 造影CTにおける造影効果を含めた腫瘍因子からみたレンパチニブの治療効果について. 第56回日本肝癌研究会. 大阪市. 2020/12/22
269. 野田 悠、酒井味和、三原勇太郎、岡村修祐、蒲池直紀、中野聖士、城野智毅、下瀬茂男、岩本英希、新関 敬、草野弘宣、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝原発腺扁平上皮癌の1例. 第56回日本肝癌研究会. 大阪市. 2020/12/22
270. 岩本英希、新関 敬、下瀬茂男、中野聖士、城野智毅、鈴木浩之、岡村修祐、野田 悠、蒲池直紀、山口泰三、古賀浩徳、鳥村拓司... 切除不能進行肝細胞癌に対するレンパチニブ

- Weekends-off 法(5 投 2 休法)の試み. 第 56 回日本肝癌研究会. 大阪市. 2020/12/22
271. 鈴木浩之、岩本英希、城野智毅、下瀬茂男、新関 敬、山口泰三、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... レンパチニブ治療後の血清IGFBP-1値の上昇は腫瘍内虚血を反映する . 第 56 回日本肝癌研究会. 大阪市. 2020/12/22
272. 蒲池直紀、下瀬茂男、岩本英希、新関 敬、中野聖士、岡村修祐、城野智毅、野田 悠、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 当院における切除不能進行肝細胞癌(HCC)に対するラムシルマブの初期使用経験. 第 56 回日本肝癌研究会. 大阪市. 2020/12/22
273. 城野智毅、新関 敬、岩本英希、下瀬茂男、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝細胞癌に対する Balloon-Occluded TACE と Coventional TACE の TE4 結節の比較. 第 56 回日本肝癌研究会. 大阪市. 2020/12/22
274. 下瀬茂男、田中正俊、新関 敬、岩本英希、城野智毅、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、山口泰三、菅 偉哉、野口和典、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司. パネルディスカッション(2). 経動脈的治療における進歩と個別化 . BCLC B 肝細胞癌に対するレンパチニブ、IVR 療法の Alternation Therapy の意義. 第 56 回日本肝癌研究会. 大阪市. 2020/12/22
275. 新関 敬、下瀬茂男、鳥村拓司. ワークショップ (1). 高度進行肝細胞癌に対する集学的治療の展開 . 進行肝細胞癌に対する New FP 療法の予後良好群の設定、及び分子標的治療薬の介入の意義. 第 56 回日本肝癌研究会. 大阪市. 2020/12/22
276. 牛島知之、岡部義信、島松 裕、平井真吾、深堀 理、安元真希子、鶴田 修、鳥村拓司... 急性膵炎後の膵周囲液体貯留に対する EUS 下経消化管的ドレナージ術の検討. 第 51 回日本膵臓学会大会. WEB. 2021/1/8
277. 宮川はるか、佐野有哉、桑原礼一郎、川口俊弘、天野恵介、有永照子、井出達也、池上 徹、鳥村拓司... 生体肝移植術後早期から、内科にて遷延する肝障害の原因検索と加療を行った 1 例. 第 332 回日本内科学会九州地方会. WEB. 2021/1/9
278. 川口 巧、鳥村拓司... 代謝異常と中等度飲酒が脂肪肝患者の肝線維化におよぼす影響. 第 40 回アルコール医学生物学研究会学術集会. WEB. 2021/1/29
279. 蒲池直紀、岡村修祐、黒松亮子、酒井味和、野田 悠、中島 収、鳥村拓司... 神経内分泌腫瘍の肝転移巣における造影超音波所見の検討. 第 34 回日本腹部造影エコー・ドブラ診断研究会. WEB. 2021/3/27
280. 酒井味和、牛島知之、寺部寛哉、岡部義信、平井真吾、島松裕、黒松亮子、鳥村拓司... 自己免疫性膵炎に合併した硬化性胆管炎に対し造影超音波検査を施行した 2 例. 第 34 回日本腹部造影エコー・ドブラ診断研究会. WEB. 2021/3/27
281. 川口 巧、中野 暖、鳥村拓司. シンポジウム(3). 糖尿病と消化器疾患. SGLT2 阻害剤が肝細胞がんにおよぼす影響. 第 11 回肥満と消化器疾患研究会. 東京. 2021/4/14
282. 井出達也、天野恵介、鳥村 拓司... 肝疾患専門医療機関における肝炎ウイルス陽性者拾い上げシステムの状況. 第 107 回日本消化器病学会総会. WEB. 2021/4/15
283. 森田 俊、鶴田耕三、荒木俊博、山崎 博、桑木光太郎、吉岡慎一郎、竹田津英稔、光山慶一、鳥村拓司... 慢性大腸炎モデルに対する青黛の有効性と肺高血圧症発症についての検討. 第 107 回日本消化器病学会総会. WEB. 2021/4/15
284. 荒木俊博、山崎 博、森田 俊、鶴田耕三、吉村哲広、桑木光太郎、吉岡慎一郎、竹田津英稔、光山慶一、鳥村拓司... ラット腸炎モデルに対する自己組織化ハイドロゲル局所投与の有効性と作用機序. 第 107 回日本消化器病学会総会. WEB. 2021/4/15
285. 増田篤高、中村 徹、鳥村拓司. ワークショップ (1). 消化器領域における再生医療：基礎的研究の最前線. 培養 CD34 陽性細胞は NASH モデル脂肪肝に生着し肝線維化を抑制する. 第 107 回日本消化器病学会総会. WEB. 2021/4/15
286. 吉岡慎一郎、光山慶一、鳥村拓司. ワークショップ (12). 消化管の希少疾患：診療の現状と問題点. 自己炎症性疾患における下部消化管病変についての検討. 第 107 回日本消化器病学会総会. WEB. 2021/4/15
287. 川口 巧、中野 暖、鳥村拓司. ワークショップ

- (3) . 消化器疾患と神経系の臓器相関. MAFLD 患者における activity と脳由来神経栄養因子 (BDNF) の関連. 第 107 回日本消化器病学会総会. WEB. 2021/4/15
288. 島松 裕、岡部義信、牛島知之、平井真吾、寺部寛哉、内藤嘉紀、鳥村拓司... 自己免疫性膵炎切除 4 例における EUS 所見と摘出病理所見の対比. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会. 広島市. 2021/5/14
289. 平井真吾、岡部義信、安元真希子、内藤嘉紀、牛島知之、寺部寛哉、島松 裕、鳥村拓司... 通常型膵癌に対する EUS-FNA の腫瘍径別成績と偶発症に関する後方視的検討. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会. 広島市. 2021/5/14
290. 牛島知之、岡部義信、島松 裕、平井真吾、寺部寛哉、鳥村拓司... 当院における小児 ERCP の検討. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会. 広島市. 2021/5/14
291. 寺部寛哉、岡部義信、宗 祐人、牛島知之、平井真吾、島松 裕、榊原重成、佐々木 優、鳥村拓司... Roux-en Y 再建腸管例に対する 2 種のショートタイプバルーン内視鏡を用いた ERCP 関連手技の後方視的比較検討. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会. 広島市. 2021/5/14
292. 山村咲良、川口 巧、Mohammed Eslam、堤 翼、中野 暖、吉永しのぶ、高橋宏和、安西慶三、Jacob George、鳥村拓司... 脂肪肝の新診断基準「代謝異常関連脂肪肝 (MAFLD)」の検証：非肥満 MAFLD における pre-diabetes の意義. 第 7 回肝臓と糖尿病・代謝研究会. WEB. 2021/5/21
293. 蒲池直紀、中野聖士、黒松亮子、岡村修祐、野田 悠、古賀浩徳、鳥村拓司... 造影超音波検査を用いた進行肝細胞癌に対するレンパチニブの早期効果判定. 日本超音波医学会第 94 回学術集会.. 2021/5/21
294. 野田 悠、岡村修祐、黒松亮子、中野聖士、蒲池直紀、中島 収、鳥村拓司... 肝細胞腺腫の超音波像の検討. 日本超音波医学会第 94 回学術集会.. 2021/5/21
295. 鈴木浩之、城野智毅、新関 敬、岩本英希、下瀬茂男、古賀浩徳、鳥村拓司... Fontan 術後肝細胞癌に対し low dose FP 療法および放射線治療が奏効した 1 例. 第 333 回日本内科学会九州地方会. WEB. 2021/6/5
296. 川口俊弘、岩尾直樹、斉東京祿、後藤諒介、向坂健秀、相野 一、前川隆一郎、鳥村拓司... 当院における C 型慢性肝炎患に対するグレカプレビル / ピブレンタスビル併用療法の有効性と安全性. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
297. 安倍満彦、住江修治、則松 宏、住江博明、鳥村拓司... 転移性肝神経内分泌腫瘍の原発巣同定にソマトスタチン受容体シンチグラフィが有用であった一例. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
298. 平井真吾、岡部義信、牛島知之、寺部寛哉、島松 裕、鳥村拓司、室屋大輔、奥田康司... 経乳頭及び EUS ガイド下アプローチによるマルチステンティングが有用であった非切除肝門部胆管癌の 1 例. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
299. 河野 隆、吉尾智一、桑野 徹、宮崎 健、豊増 靖、森田 拓、河野克俊、福森一太、坂田研二、名嘉眞陽平、笹原弘子、末吉 晋、野口和典、鳥村拓司... 貧血の原因となった出血性小腸腫瘍の一例. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
300. 牛島知之、岡部義信、島松 裕、平井真吾、寺部寛哉、鳥村拓司... 遠位悪性胆管狭窄に対するダックビル型胆管ステントの使用経験. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
301. 井上博人、江森啓悟、久永 宏、於保和彦、鳥村拓司... 十二指腸静脈瘤 (出血・治療症例) のトータルマネージメント. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
302. 福永秀平、光山慶一、鳥村拓司... Metabolic dysfunction-associated fatty liver は大腸腺腫症の発生と関連がある. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学

- 会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
303. 中尾昂史、森敦、桑原朝子、高木浩史、住江修治、宮島一郎、南野隆一、安倍弘彦、鳥村拓司... CT・MRI 検査にて悪性腫瘍との鑑別が困難であった肝膿瘍の症例. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
304. 下河邊堯、新関 敬、下瀬茂男、岩本英希、城野智毅、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 集学的治療により長期生存が得られている肝細胞癌両側副腎転移の一例. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
305. 吉田佑輔、新関 敬、宮里けい、城野智毅、下瀬茂男、岩本英希、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 集学的治療により長期生存が得られた肝細胞癌右房内腫瘍塞栓の一例. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
306. 渡邊優征、鶴田 修、渡辺大将、菅原脩平、深水 航、柴田 翔、上野恵里奈、河野弘史、光山慶一、鳥村拓司... Cytological dysplasia を伴う大腸広基性鋸歯状病変 (SSLD) の一例. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
307. 渡邊優征、鶴田 修、渡辺大将、菅原脩平、深水 航、柴田 翔、上野恵里奈、河野弘志、光山慶一、鳥村拓司... Cytological dysplasia を伴う大腸広基性鋸歯状病変 (SSLD) の一例. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
308. 石井海人、山口翔太郎、草場喜雄、白地美紀、榊原雅彦、小野典之、鳥村拓司... 診断に苦慮した硬化性胆管炎の一例. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
309. 堤 翼、川口 巧、鳥村拓司. ワークショップ(3). 生活習慣と関連する消化器疾患の新たな展開. 脂肪肝の新診断基準 MAFLD(Metabolic Dysfunction-Associated Fatty Liver Disease) と NAFLD の心血管リスクに関する検討. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
310. 吉村哲広、桑木光太郎、竹田津英稔、吉岡慎一郎、福永秀平、森 敦、森田 俊、鶴田耕三、荒木俊博、山崎 博、酒見亮介、光山慶一、鳥村拓司. ワークショップ(4). 腸肝相関からみた消化器疾患の病態解明と治療の展開. 炎症性腸疾患における新規血清バイオマーカー Leucine-rich  $\alpha 2$  Glycoprotein の臨床的意義. 第 117 回日本消化器病学会九州支部例会/第 111 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. WEB. 2021/6/11
311. 堤 翼、川口 巧、山村咲良、中野 暖、鳥村拓司... 脂肪肝の新診断基準 MAFLD (Metabolic Dysfunction-Associated Fatty Liver Disease) と NAFLD の経年的な肝線維化進展の診断能. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
312. 鈴木浩之、岩本英希、中村 徹、増田篤高、阪上尊彦、田中俊光、中野 暖、新関 敬、中野聖士、岡村修祐、下瀬茂男、城野智毅、野田 悠、蒲池直紀、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝細胞癌に対するレンパチニブ治療のバイオマーカー探索および耐性獲得に関与する IGFBP-1 についての検討. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
313. 中村 徹、増田篤高、岩本英希、鈴木浩之、田中俊光、阪上尊彦、古賀浩徳、鳥村拓司... QOL 改善を目指した自家末梢血 CD34 陽性細胞移植による肝硬変治療開発. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
314. 下瀬茂男、新関 敬、岩本英希、城野智毅、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、中野聖士、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... BCLC B 肝細胞癌におけるレンパチニブ療法の post-progression survival 及び post treatment の検討. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
315. 川口 巧、山村咲良、鳥村拓司. シンポジウム(3). NASH 診療の現状と今後の課題. Metabolic associated fatty liver disease (MAFLD) と NAFLD の肝線維化診断能の比較検討. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
316. 天野恵介、井出達也、鳥村拓司. パネルディスカッション(3). 肝炎ウイルス制御下の発癌と諸問題

- . エンテカビル投与例における B 型肝炎ウイルス制御下肝発癌の検討. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
317. 岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司. パネルディスカッション (6) . 進行肝癌の薬物療法の臨床成績と問題点. 肝細胞癌に対する肝動注化学療法 New FP 療法とソラフェニブの治療成績の多施設後ろ向き比較研究. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
318. 佐野有哉、井出達也、鳥村拓司. ミニオーラル (6). C 型肝炎. C 型非代償性肝硬変に対するソホスブビル/ペルパタスビル治療後の肝予備能改善に関する検討. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
319. 岩本英希、古賀浩徳、鳥村拓司. ワークショップ (10). 肝臓研究の frontline. 肝細胞癌における癌血管特異的 micro RNA を利用した新規血管新生抑制治療. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
320. 有永照子、高橋敦史、鳥村拓司. ワークショップ (12) . 自己免疫性肝疾患に対する進歩と課題. 自己免疫性肝炎・原発性胆汁性胆管炎のオーバーラップの特徴—自己免疫性肝炎全国調査より— . 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
321. 中野 暖、川口 巧、鳥村拓司. ワークショップ (13) . NASH の病態解明と臨床応用. SGLT2 阻害剤が肝細胞癌の増殖に及ぼす影響：メタボロームとプロテオームを用いた Multi-omics 解析. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
322. 蒲池直紀、中野聖士、鳥村拓司. ワークショップ (3) . 肝疾患に対する画像診断の進歩. 切除不能進行肝細胞癌に対するレンパチニブの造影超音波検査による早期効果判定の有用性. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
323. 川口 巧、山村咲良、鳥村拓司. ワークショップ (5) . アルコール性肝障害・代謝性肝疾患の現状と課題. 健診受診者における肝線維化と小～中等度飲酒の関連：shear wave elastography を用いた検討. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
324. 城野智毅、新関 敬、鳥村拓司. ワークショップ (8) . 肝癌に対する局所療法（肝切除、アブレーション、TACE、他）の最前線. 肝細胞癌に対する TACE における完全壊死持続効果の比較：Balloon-occluded vs. Conventional vs. Drug-eluting beads. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
325. 鳥村拓司. 特別企画 1. 肝癌診療ガイドライン第 5 版公聴会. 第 5 章：穿刺局所療法. 第 57 回日本肝臓学会総会. 北海道. 2021/6/17
326. 鈴木浩之、岩本英希、中村 徹、増田篤高、阪上尊彦、田中俊光、古賀浩徳、鳥村拓司... HCC に対する分子標的治療が腫瘍免疫微小環境に与える影響の検討. 第 17 回広島肝臓プロジェクト研究センターシンポジウム. 広島市. 2021/7/10
327. 板野 哲、酒井輝文、石井政嗣、蛭川和也、岩本英希、新関 敬、下瀬茂男、城野智毅、鳥村拓司、板野 理. ワークショップ.. 巨大肝癌に対する「System-i」を用いた分割的頸動脈治療. 第 57 回日本肝臓学会. 鹿児島市. 2021/7/22
328. 岡村修祐、角 明子、下瀬茂男、蒲池直紀、野田 悠、城野智毅、岩本英希、新関 敬、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... Dual energy CT を用いたアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の効果判定について. 第 57 回日本肝臓学会. 鹿児島市. 2021/7/22
329. 鈴木浩之、岩本英希、中村 徹、新関 敬、中野聖士、岡村修祐、城野智毅、下瀬茂男、増田篤高、野田 悠、阪上尊彦、田中俊光、蒲池直紀、中野 暖、今村恭子、早川政子、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 肝細胞癌に対するレンパチニブ治療のバイオマーカー探索および耐性獲得に関与する IGFBP-1 についての検討. 第 57 回日本肝臓学会. 鹿児島市. 2021/7/22
330. 城野智毅、新関 敬、岩本英希、下瀬茂男、蒲池直紀、野田 悠、岡村修祐、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... 右心房内腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する肝動注化学療法と放射線治療の併用療法. 第 57 回日本肝臓学会. 鹿児島市. 2021/7/22
331. 蒲池直紀、岡村修祐、野田 悠、城野智毅、下瀬茂男、岩本英希、新関 敬、三原勇太郎、黒松亮子、古賀浩徳、奥田康司、中島 収、鳥村拓司... 再発時に神経内分泌マーカーの発現を獲得したと考えられる肝細胞癌の一例. 第 57 回日本肝臓学会. 鹿児島市. 2021/7/22
332. 岩本英希、下瀬茂男、野田 悠、城野智毅、中

- 野聖士、新関 敬、岡村修祐、蒲池直紀、鈴木浩之、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司。シンポジウム (1) . 複合免疫療法時代を迎えた新たな進行肝癌治療. 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の多施設後ろ向き Real-world データ解析. 第 57 回日本肝癌研究会. 鹿児島市. 2021/7/22
333. 新関 敬、下瀬茂男、鳥村拓司、城野智毅、岩本英希、古賀浩徳、黒松亮子。シンポジウム (5) . 肝癌に対する conversion を目指した治療戦略. 当院における切除不能進行肝細胞癌に対する CR 例から考える conversion を目指した治療戦略. 第 57 回日本肝癌研究会. 鹿児島市. 2021/7/22
334. 岩本英希、下瀬茂男、城野智毅、野田 悠、岡村修祐、蒲池直紀、鈴木浩之、黒松亮子、新関敬、古賀浩徳、鳥村拓司... 切除不能進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の real world データを用いた初期使用経験-多施設後ろ向き解析-. 第 24 回日本肝がん分子標的治療研究会. 富山県. 2021/8/28
335. 鈴木浩之、岩本英希、中村 徹、増田篤高、阪上尊彦、田中俊光、新関 敬、岡村修祐、城野智毅、下瀬茂男、野田 悠、蒲池直紀、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... レンバチニブ治療後の血清 IGF1-1 上昇は肝細胞癌のレンバチニブ耐性・予後不良に関与する. 第 24 回日本肝がん分子標的治療研究会. 富山県. 2021/8/28
336. 中野聖士、古賀浩徳、井出達也、鳥村拓司... SVR 後発癌の知見とその予後. 第 24 回日本肝がん分子標的治療研究会. 富山県. 2021/8/28
337. 南 真平、荒木俊博、長 知徳、力武祐一郎、中根智幸、永田 務、大内彬弘、向笠道太、竹田津英稔、鳥村拓司... 十二指腸神経内分泌腫瘍に対して Over-the-scope clip を併用し内視鏡的粘膜切除術(EMR)を行った 1 例. 第 334 回日本内科学会九州地方会. WEB. 2021/8/28
338. 岩本英希、鈴木浩之、古賀浩徳、鳥村拓司... 多剤 MTA 時代における各々の MTA による特有の癌微小環境の変化の理解. 第 28 回肝細胞研究会. 大阪. 2021/9/10
339. Suzuki H, Iwamoto H, Nakamura T, Masuda A, Sakaue T, Tanaka T, Niizeki T, Okamura S, Shimose S, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Kuromatsu R, Koga H, Torimura T . . . Circulating IGF1BP-1 provides molecular targeted agent-resistance in hepatocellular carcinoma. JSH International Liver Conference 2021. Fukuoka, Japan. 2021/10/2
340. Nakano M, Kuromatsu R, Niizeki T, Okamura S, Iwamoto H, Shimose S, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Koga H, Torimura T . . . Primary Treatment with Molecular-targeted Agents for Hepatocellular carcinoma: A Propensity Score-matching Analysis. JSH International Liver Conference 2021. Fukuoka, Japan. 2021/10/2
341. Okamura S, Shimose S, Niizeki T, Kamachi N, Noda Y, Shirono T, Iwamoto H, Nakano M, Kuromatsu R, Koga H, Torimura T . . . Association between contrast effect on contrast-enhanced computed tomography and lenvatinib effectiveness in hepatocellular carcinoma. JSH International Liver Conference 2021. Fukuoka, Japan. 2021/10/2
342. Kawaguchi T, Shimose S, Koya S, Hirota K, Yoshio S, Niizeki T, Matsuse H, Torimura T . . . An Association of Branched-chain Amino Acids and Frailty with the Development of Lenvatinib-related Fatigue in Patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma. JSH International Liver Conference 2021. Fukuoka, Japan. 2021/10/2
343. Shirono T, Niizeki T, Iwamoto H, Shimose S, Kamachi N, Noda Y, Okamura S, Kuromatsu R, Koga H, Torimura T . . . Comparison of the effect of sustained complete necrosis in TACE for hepatocellular carcinoma(HCC): Balloon-occluded(B-TACE) vs. Conventional(C-TACE) vs. Drug-eluting beads (DEBTACE). JSH International Liver Conference 2021. Fukuoka, Japan. 2021/10/2
344. Tanaka T, Koga H, Suzuki H, Iwamoto H, Sakaue T, Masuda A, Nakamura T, Akiba J, Yano H, Torimura T . . . Anti-PD-L1 antibodies promote cellular proliferation in liver cancer cells. JSH International Liver Conference 2021. Fukuoka, Japan. 2021/10/2
345. Niizeki T, Koga H, Torimura T . . . Role and the prognostic factors of hepatic arterial infusion chemotherapy `New FP` for advanced HCC beyond up to 7 criteria. JSH International Liver Conference 2021. Fukuoka, Japan. 2021/10/2
346. Iwamoto H, Suzuki H, Koga H, Torimura T. Workshop( II ). The New Talent Workshop (Breakthrough basic researches in HCC for newly developed molecular and immune targeted therapies) . Novel anti-angiogenic therapy using tumor endothelial cell-specific microRNA in hepatocellular carcinoma. JSH International Liver Conference 2021. Fukuoka, Japan. 2021/10/2
347. Kuromatsu R, Ide T, Okamura S, Noda Y, Kamachi N, Nakano M, Niizeki T, Koga H, Torimura T . . . Recurrences are suppressed by elimination of hepatitis C virus using DAA after radical HCC

- treatment. 7th Asian Conference on Tumor Ablation (ACTA2021) . 東京. 2021/10/15
348. 古賀浩徳、中村 徹、岩本英希、増田篤高、阪上尊彦、田中俊光、鈴木浩之、矢野博久、鳥村拓司... Wnt シグナル中樞転写因子 TCF-4 バリアントの消化器系細胞における発現様式. 第 53 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. WEB. 2021/10/22
349. 中野 暖、川口 巧、岩本英希、吉田隆文、秋葉 純、古賀浩徳、鳥村拓司... SGLT2 阻害剤が肝細胞癌の増殖と代謝に及ぼす影響～ Multi-omics を用いた解析～. 第 53 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. WEB. 2021/10/22
350. 鳥村拓司. シンポジウム (1) . 分子形態学から見た消化器病学関連疾患の新たな展開. 基礎と臨床から見た進行肝細胞癌治療. 第 53 回日本臨床分子形態学会総会・学術集会. WEB. 2021/10/22
351. 牛島知之、岡部義信、島松 裕、平井真吾、寺部寛哉、鳥村拓司... 切除不能悪性遠位胆管閉塞に対する Duckbill 型 ARMS(DARMS)の有用性. 29th JDDW (第 102 回日本消化器内視鏡学会総会) . 神戸市. 2021/11/4
352. 島松 裕、岡部義信、牛島知之、平井真吾、寺部寛哉、内藤嘉紀、鳥村拓司... 当院の膵神経内分泌腫瘍(PNEN)に対する EUS-FNA の診断能に関する後方視的検討. 29th JDDW (第 102 回日本消化器内視鏡学会総会) . 神戸市. 2021/11/4
353. Iwamoto H, Koga H, Torimura T . . . The effectiveness of the locoregional treatment using hepatic arterial infusion chemotherapy for locally progressed hepatocellular carcinoma. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会・第 63 回日本消化器病学会大会・第 19 回日本消化器外科学会大会). 神戸市. 2021/11/4
354. 中野 暖、川口 巧、鳥村拓司... マイオカイン decorin が肝がん患者のサルコペニアと予後におよぼす影響. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会・第 63 回日本消化器病学会大会・第 19 回日本消化器外科学会大会). 神戸市. 2021/11/4
355. 桑原礼一郎、井出達也、鳥村拓司... 肝移植医療拡大のために肝臓内科医に求められる課題. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会・第 63 回日本消化器病学会大会・第 19 回日本消化器外科学会大会). 神戸市. 2021/11/4
356. Kawaguchi T, Nakano D, Torimura T . . . Effects of SGLT2 Inhibitor on the Progression and Metabolisms in Metabolism-Associated Liver Cancer: Multi-Omics Analysis of Metabolomics/Proteomics. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会・第 63 回日本消化器病学会大会・第 59 回日本消化器がん検診学会大会). 神戸市. 2021/11/4
357. 有永照子、井出達也、桑原礼一郎、天野恵介、川口俊弘、佐野有哉、鳥村拓司... 自己免疫性肝炎における Growth differentiation factor 15 (GDF15)の役割. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2021/11/4
358. 下瀬茂男、岩本英希、新関 敬、城野智毅、野田 悠、岡村修祐、古賀浩徳、鳥村拓司... 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ、ベバシズマブ併用療法の安全性と有効性の評価-多施設共同研究-. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2021/11/4
359. 城野智毅、新関 敬、岩本英希、下瀬茂男、野田 悠、岡村修祐、古賀浩徳、鳥村拓司... 高齢者進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ及びベバシズマブ併用療法の使用経験. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2021/11/4
360. 岡村修祐、下瀬茂男、新関 敬、蒲池直紀、野田 悠、城野智毅、岩本英希、黒松亮子、古賀浩徳、鳥村拓司... Dual energy CT を用いたアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の効果判定について. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2021/11/4
361. 鈴木浩之、岩本英希、鳥村拓司... 肝細胞癌に対するレンパチニブ治療におけるバイオマーカーおよび耐性獲得に関与する IGFBP-1 についての検討. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会). 神戸市. 2021/11/4
362. 増田篤高、中村 徹、鳥村拓司... NASH モデルマウスに対する培養 CD34 陽性細胞移植の肝線維化抑制効果と肝再生促進効果. 29th JDDW (第 25 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2021/11/4
363. 黒松亮子、井出達也、鳥村拓司... C 型肝硬変に合併した肝癌根治治療後の DAA 治療は予後を延長する. 29th JDDW (第 63 回日本消化器病学会大会・第 25 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2021/11/4

- 364.川口 巧、山村咲良、鳥村拓司... Metabolic associated fatty liver disease (MAFLD)の肝線維化予測能：飲酒の影響を含めた NAFLD と比較検討. 29th JDDW (第 63 回日本消化器病学会大会、第 25 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2021/11/4
- 365.福永秀平、川口 巧、鳥村拓司... 脂肪肝と大腸腺腫の臓器関連：データマイニングによる脂肪肝の新基準 MAFLD の検討. 29th JDDW (第 63 回日本消化器病学会大会、第 25 回日本肝臓学会大会) . 神戸市. 2021/11/4
- 366.田中俊光、三輪啓介、梶原 彰、長主祥子、牛島知之、赤木由人、鳥村拓司... 切除不能進行胃癌患者で 3 次治療以降にニボルマブ単独療法で発症した免疫関連有害事象 (irAE) と予後の解析. 29th JDDW (第 63 回日本消化器病学会大会) . 神戸市. 2021/11/4
367. Iwamoto H, Shimose S, Takashi N, Noda Y, Shirono T, Nakano M, Okamura S, Kamachi N, Suzuki H, Kuromatsu R, Koga H and Torimura T... Initial experience of atezolizumab plus bevacizumab for unresectable hepatocellular carcinoma in real-world clinical practice. The Liver Meeting Digital Experience 2021 (The 72th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . WEB. 2021/11/12
368. Nakano D, Kawaguchi T, Iwamoto H, Hayakawa M, Yoshida T, Akiba J, Koga H and Torimura T... SGLT2 Inhibitor altered metabolic reprogramming and suppressed proliferation of hepatocellular carcinoma: A metabolomic and proteomic analysis. The Liver Meeting Digital Experience 2021 (The 72th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . WEB. 2021/11/12
369. Masuda A, Nakamura T, Iwamoto H, Sakaue T, Tanaka T, Suzuki H, Koga H and Torimura T... EX VIVO-EXPANDED CD34+ CELL Transplantation attenuates liver fibrosis via inhibition of STAT1/CXCL10 axis in a mouse model of NASH. The Liver Meeting Digital Experience 2021 (The 72th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . WEB. 2021/11/12
370. Hashida R, Kawaguchi T, Matsuse H, Nakano D, Tsutsumi T, Takahashi H, Gerber NL, Younossi ZM and Torimura T... A relationship between activity and brain-derived neurotrophic factor (BDNF) in patients with nonalcoholic fatty liver disease. The Liver Meeting Digital Experience 2021 (The 72th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . WEB. 2021/11/12
371. Tsutsumi T, Kawaguchi T, Nakano D, Yoshinaga S, Takahashi H, Takuji Torimura T... The impact of combination of prediabetes and visceral adiposity on the worsening of hepatic fibrosis in patients with LEAN-MAFLD. The Liver Meeting Digital Experience 2021 (The 72th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . WEB. 2021/11/12
372. Kawaguchi T, Honda A, Sugiyama Y, Nakano D, Tsutsumi T, Tahara N, Torimura T and Fukumoto Y... An impact of albumin-bilirubin (ALBI) score on pulmonary arterial pressure in patients with chronic liver disease with portopulmonary hypertension (POPH): A data-mining analysis. The Liver Meeting Digital Experience 2021 (The 72th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . WEB. 2021/11/12
373. Suzuki H, Iwamoto H, Nakamura T, Masuda A, Sakaue T, Tanaka T, Koga H and Torimura T... FGFR Inhibition alters 'COLD TUMOR' into 'HOT TUMOR' in immune syngeneic orthotopic hepatocellular carcinoma. The Liver Meeting Digital Experience 2021 (The 72th Annual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)) . WEB. 2021/11/12
374. 古賀雅也、渡邊優征、渡辺大将、菅原脩平、深水 航、柴田 翔、上野恵里菜、河野弘志、鶴田 修、鳥村拓司... 非活動性キャリアから誘因なく HBV 再活性化した 1 例. 第 335 回日本内科学会九州地方会. WEB. 2021/11/14
375. 山崎 博、荒木俊博、森田 俊、鶴田耕三、吉村哲広、桑木光太郎、吉岡慎一郎、竹田津英稔、鳥村拓司、光山慶一... 白血球除去療法における GCRP 関連タンパクおよびその受容体の検討. 第 12 回日本炎症性腸疾患学会学術集会. 東京. 2021/11/26
376. 荒木俊博、山崎 博、森田 俊、鶴田耕三、吉村哲広、桑木光太郎、吉岡慎一郎、竹田津英稔、光山慶一、鳥村拓司... 炎症性腸疾患モデルに対する自己組織化ハイドロゲル投与による治療可能性の検討. 第 12 回日本炎症性腸疾患学会学術集会. 東京. 2021/11/26
377. 森田 俊、鶴田耕三、荒木俊博、山崎 博、桑木光太郎、吉岡慎一郎、竹田津英稔、光山慶一、鳥村拓司... 慢性大腸炎モデルに対する青黛の有効性と肺高血圧症発症とその機序. 第 12 回日

- 本炎症性腸疾患学会学術集会. 東京.  
2021/11/26
378. 榎原重成、岡部義信、宗 祐人、市岡正敏、副島 祥、平塚裕也、松岡弘樹、小島俊樹、橋本崇、別府剛志、酒見亮介、佐々木 優、鳥村拓司... 幽門側胃切除後 Roux-Y 再建腸管例に対して側視鏡による内視鏡的胆管結石除去術に成功した 1 例. 第 118 回日本消化器病学会九州支部例会/第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 長崎市. 2021/12/3
379. 寺部寛哉、岡部義信、金城賢尚、内藤嘉紀、島松 裕、平井真吾、牛島知之、後藤祐一、久下享、鳥村拓司... High grade IPMN の 1 切除例. 第 118 回日本消化器病学会九州支部例会/第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 長崎市. 2021/12/3
380. 力武祐一郎、永田 務、荒木俊博、長 知徳、中根智幸、大内彬弘、福永秀平、向笠道太、竹田津英稔、岡部義信、光山慶一、鳥村拓司... Inverted growth pattern を呈した大腸癌の 1 例. 第 118 回日本消化器病学会九州支部例会/第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 長崎市. 2021/12/3
381. 下河邊堯、白地美紀、山口翔太郎、宮崎 健、梶原雅彦、小野典之、鳥村拓司... 新型コロナウイルスワクチン接種後に肝機能障害を来した一例. 第 118 回日本消化器病学会九州支部例会/第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 長崎市. 2021/12/3
382. 江田 誠、桑野 徹、河野 隆、吉尾智一、谷口寛子、谷脇慎一、豊増 靖、森田 拓、名嘉真陽平、河野克俊、福森一太、坂田研二、野口和典、鳥村拓司... 胆嚢摘出術時のクリップが壁外圧迫し十二指腸粘膜下腫瘍様隆起を呈し、経過中に内腔穿通した事が考えられた一例. 第 118 回日本消化器病学会九州支部例会/第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 長崎市. 2021/12/3
383. 新関 敬、古賀浩徳、鳥村拓司. シンポジウム (1). 肝がん診療の update: 標準化と個別化. 当院の治療成績から考える、肝動注化学療法の適した臨床像. 第 118 回日本消化器病学会九州支部例会/第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 長崎市. 2021/12/3
384. 竹田津英稔、今給黎宗、光山慶一、鶴田耕三、森田 俊、向坂秀人、久能宣昭、阿部光市、船越禎広、石橋英樹、桑木光太郎、吉岡慎一郎、平井郁仁、鳥村拓司. シンポジウム (2). 患者さんに寄り添う IBD 個別化医療を考える. 血清プロテイナーゼ-3 抗好中球細胞質抗体 (PR3-ANCA) は潰瘍性大腸炎の診断および治療経過予測に有用である. 第 118 回日本消化器病学会九州支部例会/第 112 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 長崎市. 2021/12/3
385. 財前友貴、中野聖士、福森一太、矢野洋一、鳥村拓司... 肝内に限局した進行肝細胞癌に対する肝動注化学療法 (シスプラチン) と薬物療法 (ソラフェニブ) の予後の比較. 第 44 回日本肝臓学会西部会. 岡山市. 2021/12/9
386. 佐野有哉、井出達也、天野恵介、桑原礼一郎、川口 巧、有永照子、鳥村拓司... 当院における他臓器保護 (腎尿細管機能・骨代謝) を意識した B 型肝炎治療. 第 44 回日本肝臓学会西部会. 岡山市. 2021/12/9
387. 鈴木浩之、有永照子、佐野有哉、三原勇太郎、水落建輝、井出達也、桑原礼一郎、天野恵介、川口俊弘、草野弘宣、秋葉 純、矢野博久、鹿毛政義、古賀浩徳、鳥村拓司... 極めて稀な ATP8B1 遺伝子変異を有する良性反復性肝内胆汁うっ滞症 (BRIC 1 型) の 1 症例. 第 44 回日本肝臓学会西部会. 岡山市. 2021/12/9
388. 下瀬茂男、古賀浩徳、鳥村拓司. シンポジウム (1). 進行肝細胞癌に対する分子標的治療の現状と展開. 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の初期治療経験 (ALBI と背景肝からの視点で). 第 44 回日本肝臓学会西部会. 岡山市. 2021/12/9
389. 岩本英希、鳥村拓司. シンポジウム (10). がん微小環境と肝細胞癌の発癌・進展機構. 肝細胞癌における分子標的治療薬によるがん微小環境の変化と役割. 第 44 回日本肝臓学会西部会. 岡山市. 2021/12/9
390. 川口 巧、鳥村拓司、福本義弘. シンポジウム (2). 進行肝細胞癌に対する分子標的治療の現状と展開. 門脈肺高血圧症 (PoPH) の重症度と肝予備能の関連: データマイニング解析. 第 44 回日本

肝臓学会西部会. 岡山市. 2021/12/9

391. 堤 翼、川口 巧、鳥村拓司. シンポジウム (4).  
NAFLD から MAFLD へ—脂肪性肝疾患の新たな  
コンセプト形成に向けて. 脂肪肝の新診断基  
準 MAFLD (Metabolic Dysfunction-Associated  
Fatty Liver Disease) と NAFLD の心血管リスク  
の経年変化に関する検討. 第 44 回日本肝臓学会  
西部会. 岡山市. 2021/12/9
392. 増田篤高、中村 徹、鳥村拓司... NASH モデル  
マウスにおける培養 CD34 陽性細胞移植の抗線  
維化・抗炎症作用と  
免疫細胞遊走抑制. 第 35 回肝類洞壁細胞研究会  
学術集会. 新潟市. 2021/12/16
393. Suzuki H, Iwamoto H, Niizeki T, Okamura S,  
Shimose S, Shirono T, Noda Y, Kamachi N,  
Yamaguchi T, Nakamura T, Masuda A, Tanaka T,  
Kuromatsu R, Koga H, Torimura T... Circulating  
IGFBP-1 Provides Resistance to Molecular  
Targeted Agent in Hepatocellular Carcinoma.  
APASL Oncology 2021. Tokyo, Japan. 2021/12/17

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし